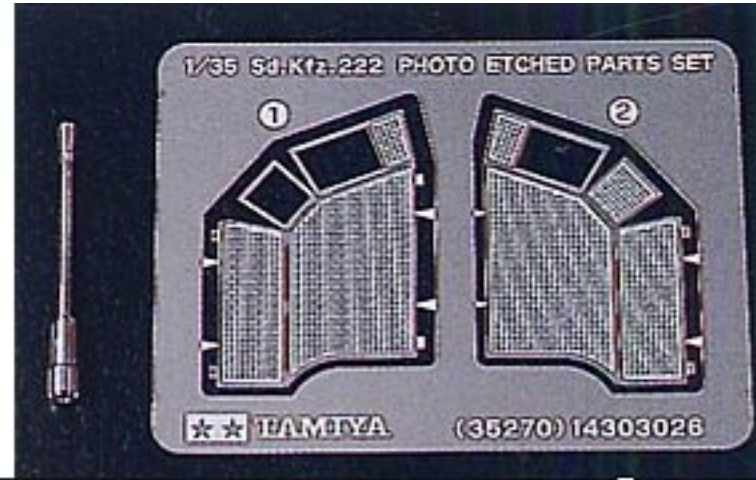


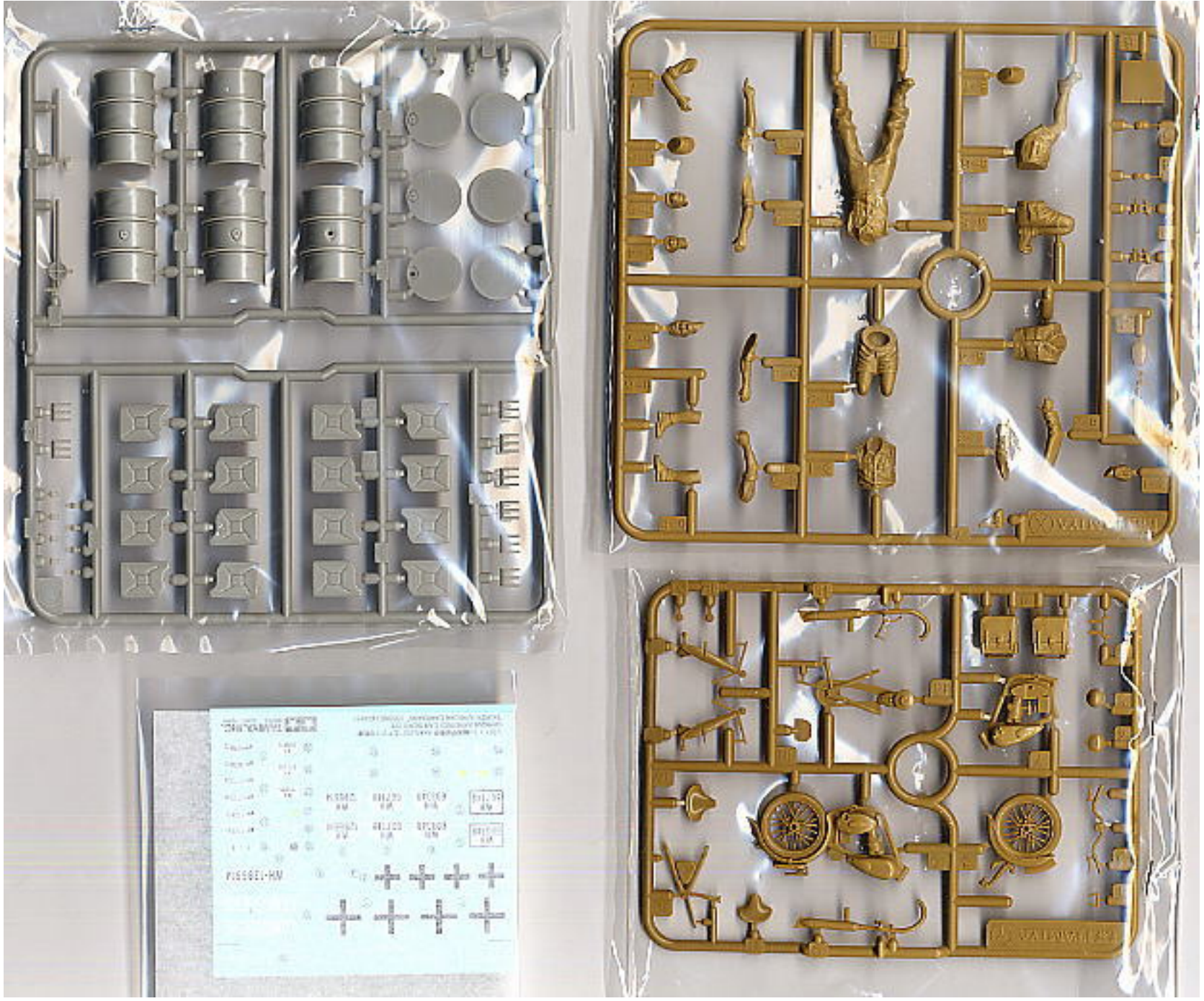
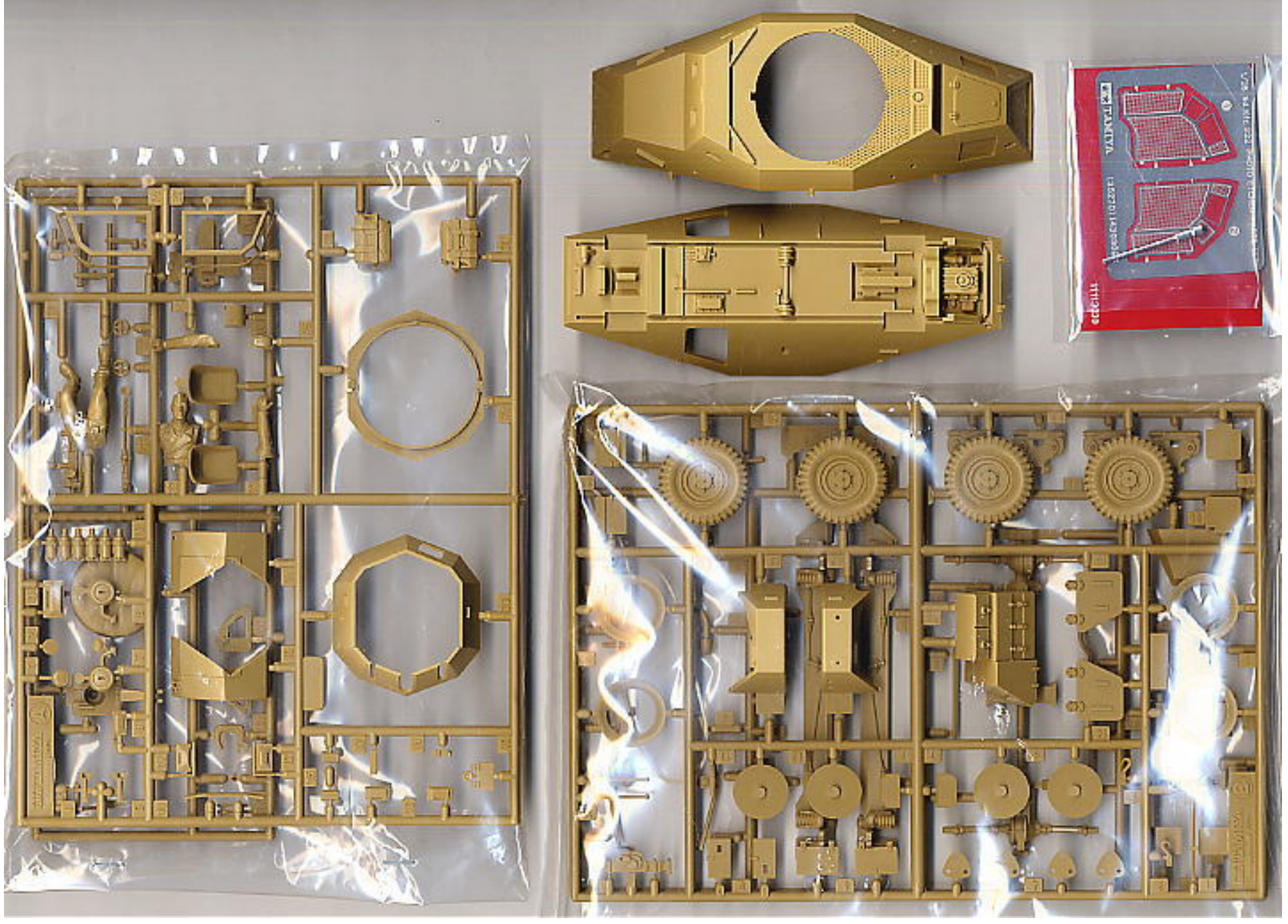


List All Images

Share

Tweet





ドイツ4輪装甲偵察車 Sd.Kfz.222 “北アフリカ戦線”

《装甲車の開発》

第二次世界大戦の緒戦において、ドイツ軍が電撃戦の成功を取ることができたのは、第一次世界大戦後のベルサイユ体制下で、戦車の保有の禁止など、軍備が厳しく制限された事情に起因しています。第一次世界大戦時における軍隊の自動車化は輸送が主目的でしたが、ドイツ軍は大戦間に英・仏の理論にも学び、戦闘部隊の自動車化とさらに装甲化を進展させました。1920年代のドイツでは、都市警察と陸軍に装甲自動車Sd.Kfz.3がありましたが、これはダイムラー社の牽引車を流用した車輛でした。そして1920年代後半、軍は新型の装甲兵員輸送車の開発を命じました。その厳しい条件を満たすために、ダイムラー・ベンツ社は8輪の装甲兵員輸送車、ビュッシングNAG社は10輪の兵員輸送車を試作しましたが、世界恐慌の影響によってこの計画は中止されました。しかし、その技術は後の8輪重装甲車の開発に生かされることとなります。次に現れたのは、軍事演習のために考えだされた3輪自転車や軍用乗用車に張子を載せた擬装戦車であり、アードラー・シュタンダルト6乗用車にアルミニウムや軟鋼板で装甲を施した擬装装甲車でした。偽物であっても、こうした車輛を用いた演習によって、戦車や装甲車輛の将来像が確立され、ヒトラー政権の誕生と再軍備がその進歩に拍車をかけました。そして、これまでは騎兵が主に行っていた索敵の任務は、装甲偵察車輛の大きな任務となり、車輛も4輪から6輪、8輪、そして装軌式へと進化しました。

《4輪装甲車》

最初に現れた量産型の4輪装甲車は、やはりアードラー社の6人掛けキューベルワーゲン・シュタンダルト6を元にした中型装甲兵員車Kfz.13で武装はMG13、後のMG34機関銃でした。また武装のかわりに無線機を搭載した系列車輛はKfz.14でした。アードラー装甲偵察車とも呼ばれたこれら車輛は1932~34年に作られ、騎兵連隊を手始めに、偵察部隊へ配備されました。

ドイツ軍は、大きさに応じて数種類の共通した車台を規定し、その上に各車体を載せるという、軍用車輛の規格統一化を進めました。その中のアウト・ウニオン製の大型兵員車輛用の規格車台Iを転用し、最初の本格的な装輪装甲車として作られたのがSd.Kfz.221でした。この装甲車は、排気量3,517cc・75馬力のホルヒV形8気筒液冷ガソリンエンジンを後部に搭載していました。独立懸架で2輪または4輪の駆動切り替え式の操舵機能をもって、路上で時速80km、路外で時速45kmという走破性能を示しました。乗員は2名で、MG13の小砲塔をもっていました。この車輛には無線機がありませんでしたが、同じ車台を用いた無線型としてSd.Kfz.223が開発されました。しかし、Sd.Kfz.221の武装が非力であったため、その発展型として1935年にSd.Kfz.222が登場しました。大型化された砲塔にはMG13と同軸で、II号戦車と同じ30式2cm戦車砲KwK30が搭載され、乗員も3名となりました。量産の過程で装甲の強化や視察小窓の変更、1941年には発射速度の高い38式の2cm砲への換装、そして近距離用の無線機が搭載されました。

そうした重量の増加は、エンジン排気量の3,823ccへの増量と90馬力への強化、制動装置の改良などによってこれを補い、路上で時速70km、路外で時速40kmの最高速度を保ちました。こうして完成度の高い4輪装輪装甲車となったSd.Kfz.222は、1943年6月までに約1,000輛が生産され、その任を半装軌式のSd.Kfz.250/9に譲った後も、偵察部隊の軽快な足として活躍しました。これら三種類の軽装甲車は、戦車師団等の目として、北はノルウェーの北極圏、西はフランスのブルターニュ半島、南は北アフリカの砂漠、そして東はモスクワ前面まで、ドイツ軍が進出した全ての戦線で活躍しました。

4輪装甲車には、同じ規格車台を用いたSd.Kfz.260とSd.Kfz.261というどちらとも言えSd.Kfz.221とSd.Kfz.223に酷似した形状の装甲車もありましたが、これらは元より装甲無線車輛として開発されたもので、武装はありませんでした。軽装甲車ではなく小型装甲無線車と類別されたこれら車輛は、主に装甲通信部隊に配備されました。装甲偵察大隊にも配備されましたが、それは大隊本部の装甲通信小隊に限定されていました。

《配備》

Sd.Kfz.221の生産が始められた1935年には最初の3個の戦車師団も編成され、装甲偵察車はその偵察大隊の装甲車中隊へ配備されました。1939年9月、第二次世界大戦の開戦時にドイツ陸軍が保有していた6個の戦車師団、4個の軽師団、そして4個の自動車化歩兵師団には、12個の偵察大隊(自動車化)、2個の偵察連隊(自動車化)が配属されていました。各部隊の編制は、第1または第1・第2装甲車中隊、第3または第2オートバイ偵察中隊、そして第4重装備中隊との混成で、戦車師団と一部の軽師団の偵察大隊には2個、自動車化歩兵師団の偵察大隊には1個、偵察連隊には4個または3個の装甲車中隊が配属されていました。中隊はSd.Kfz.231、Sd.Kfz.232、Sd.Kfz.221、Sd.Kfz.222、Sd.Kfz.223等を保有していましたが、Sd.Kfz.222の定数は4輛のみでした。また戦車師団には、オートバイ狙撃兵大隊という快速部隊も配属されていましたが、1942年になると装甲偵察大隊がこれに吸収されました。



Sd.Kfz. 232 6輪装甲車

35286 Sd.Kfz.222 North Africa (11053447)

この種の大隊は、偵察大隊にSd.Kfz.250系列を装備した第2装甲化偵察中隊とキューベルワーゲン装備の第3自動車化偵察中隊を加えた5個中隊編制となりました。

《用兵》

時速70～85kmの最高速度を誇る4輪・6輪・8輪装甲車を有した装甲車部隊は、ドイツ地上軍の中で最も機動力がある部隊でした。装甲偵察車は、空中偵察では確認の困難であった敵情を細かく探り、装甲無線車が情報を後方の本隊へ伝えました。また、その2cm砲で敵を威圧、交戦することもありました。ただし、北アフリカの戦場のように遮蔽物の少ない戦場では、偵察活動より戦闘行動に投入されることが多くありました。師団を離れた3個の偵察大隊は一つの偵察大隊群を構成し、敵を警戒しながら遠距離を移動する戦闘団としての役割を果たしました。

《北アフリカの装甲車部隊》

1941年2月、北アフリカに最初に到着したドイツ陸軍の戦闘部隊は、第5軽師団(後の第21戦車師団)の第3偵察大隊でした。ドイツ・アフリカ軍団司令官ロンメル中将は、この師団が揃う前に攻撃を開始しましたが、英軍と最初に砲火を交わしたのがエーヴェルト中尉が指揮する第3偵察大隊第2装甲車中隊でした。

次に北アフリカにやってきたのは、第15戦車師団第33偵察大隊で、1941年4月のことでした。この大隊は古い伝統を持つ第6騎兵連隊から派生した部隊でしたが、エロクール大尉率いるその第1装甲車中隊だけは編入組でした。それは最も初期に編成された偵察大隊を原点とし、直前に第10戦車師団第90装甲偵察大隊の第1中隊であったものでした。類似の部隊番号を持っていた兩大隊ですが、第3大隊の方はプロイセンの第3自動車大隊を前身としていました。

そして1941年8月には独立第580混成偵察中隊が編成され、第90軽師団に配属されました。この中隊には装甲車小隊があり、6輛のSd.Kfz.222と2輛のSd.Kfz.223を定数としていました。中隊はさらに1942年5月、第580偵察大隊へ増強されました。7月にエジプトの戦場へやってきた第164軽師団は、第164装甲偵察中隊を有し

ていましたが、これは間もなく第220装甲偵察中隊と改称されました。

1942年11月に連合軍の北西アフリカへの上陸作戦が行われると、戦場がチュニジアへ拡大しました。そこへ投入された第10戦車師団には第10オートバイ狙撃兵大隊があり、その第1中隊は装甲車を装備していました。そのため、この部隊の装甲車にはオートバイ部隊の戦術マークが記入されていました。エジプトからチュニジアへ後退してきたアフリカ装甲軍に属していた各装甲偵察大隊はオートバイ狙撃兵大隊への改編は行われず、その所属車両には騎兵の印に車輪と偵察部隊の頭文字Aを加えた戦術マークが記入されていました。

1943年の春になると、装甲偵察大隊では転属と改称が行われました。第21戦車師団第3装甲偵察大隊は第90アフリカ師団へ転属となり、第90装甲偵察大隊と改称され、第90師団から第21戦車師団へ移った第580偵察大隊は第21装甲偵察大隊となりました。第33装甲偵察大隊は第15装甲偵察大隊、第10オートバイ狙撃兵大隊は第10装甲偵察大隊に改称、つまり大隊番号が師団番号に統一されたわけです。チュニジアの戦場に新設された第5装甲軍には、独立第190装甲偵察大隊が配属されました。他に第334歩兵師団と第999アフリカ師団が投入されましたが、第334快速大隊に装甲車中隊はなく、編成が間に合わなかった第999装甲偵察大隊は、アフリカへはやってきませんでした。装甲車中隊を有した第999大隊は、その後ギリシャへ送られ、ロドス島のロドス突撃師団に配属されました。チュニジアへはまた、編成途上にあった空軍のヘルマン・ゲーリング降下戦車師団から抽出された戦闘団が送り込まれましたが、装甲偵察大隊も含まれていたため、空軍の登録番号を持つ装輪装甲車もその地で見られたはずですが、


北アフリカのドイツ軍は1943年5月に降伏しました。そこから脱出した者や、休暇等で部隊を離れていた兵士は、1944年にドイツ国内で編成された戦車教導師団の装甲偵察教導大隊に配属されました。この大隊は、その後もノルマンディー戦などに投入され、連合軍を相手に戦い続けたのです。

《装甲偵察大隊の編制 / Armored Reconnaissance Battalion – Order of Battle》

1941年型装甲偵察大隊 Armored Reconnaissance Battalion – 1941	装備(装甲車輛) Armament (armored vehicles)
大隊本部 Battalion HQ	Sd.Kfz. 247-1輛 Sd.Kfz.247 x 1
大隊本部通信小隊 Battalion HQ Signal Section	Sd.Kfz. 263-2輛、Sd.Kfz. 260-1輛、Sd.Kfz. 261-4輛 Sd.Kfz.263 x 2, Sd.Kfz.260 x 1, Sd.Kfz.261 x 4
第1中隊(装甲車) 1st Squadron (armored cars)	本部: Sd.Kfz. 247-1輛、Sd.Kfz. 263-1輛、Sd.Kfz. 223-4輛 HQ: Sd.Kfz.247 x 1, Sd.Kfz.263 x 1, Sd.Kfz.223 x 4 第1小隊: Sd.Kfz. 231-3輛、Sd.Kfz. 232-3輛 1st Section: Sd.Kfz.231 x 3, Sd.Kfz.232 x 3 第2小隊: Sd.Kfz. 221-4輛、Sd.Kfz. 222-4輛 2nd Section: Sd.Kfz.221 x 4, Sd.Kfz.222 x 4 第3小隊: Sd.Kfz. 221-6輛 3rd Section: Sd.Kfz.221 x 6
第2中隊(オートバイ狙撃兵) 2nd Squadron (motorcycle rifles)	3個小隊・装甲車輛なし(サイドカー) 3 sections / no armored vehicles (bikes w/sidecars)
第3中隊(重装備) 3rd Squadron (heavy squadron)	戦車駆逐小隊・軽歩兵砲小隊・工兵小隊には装甲車 輛なし(主にKfz. 69) Panzerjäger, light infantry artillery & pioneer troops Troops had no armored vehicles (mainly Kfz.69)

1942年型オートバイ狙撃兵大隊 Motorcycle Rifle Battalion – 1942	装備(装甲車輛) Armament (armored vehicles)
大隊本部 Battalion HQ	Sd.Kfz. 247-1輛 Sd.Kfz.247 x 1
大隊本部通信小隊 Battalion HQ Signal Section	Sd.Kfz. 263-3輛、Sd.Kfz. 260-1輛、Sd.Kfz. 261-4輛 Sd.Kfz.263 x 3, Sd.Kfz.260 x 1, Sd.Kfz.261 x 4
第1中隊(装甲車) 1st Company (armored cars)	第1小隊: Sd.Kfz. 231-3輛、Sd.Kfz. 232-3輛 1st Section: Sd.Kfz.231 x 3, Sd.Kfz.232 x 3 第2~第4小隊: Sd.Kfz. 222-4輛、Sd.Kfz. 223-4輛 2nd – 4th Sections: Sd.Kfz.222 x 4, Sd.Kfz.223 x 4
第2中隊(装甲偵察) 2nd Company (armored reconnaissance)	本部: Sd.Kfz. 250/3-2輛 HQ: Sd.Kfz.250/3 x 2 第1~第3小隊: Sd.Kfz. 250/10-1輛、Sd.Kfz. 250/1-7輛 1st – 3rd Sections: Sd.Kfz.250/10 x 1, Sd.Kfz.250/1 x 7 第4重装備小隊: Sd.Kfz. 250/1-7輛、Sd.Kfz. 250/7-4輛 4th Heavy Section: Sd.Kfz.250/1 x 7, Sd.Kfz.250/7 x 4
第3中隊(軽偵察) 3rd Company (light reconnaissance)	装甲車輛なし(キューベルワーゲンを装備) No armored vehicles (equipped with Kübelwagens)
第4中隊(オートバイ偵察) 4th Company (motorcycle reconnaissance)	装甲車輛なし(サイドカー) No armored vehicles (bikes w/sidecars)
第5中隊(重装備) 5th Company (heavy company)	戦車駆逐小隊・軽歩兵砲小隊・装甲化歩兵砲小隊・ 工兵小隊、装甲化歩兵砲小隊にSd.Kfz. 251/4-3輛、 その他はSd.Kfz. 10、Kfz. 69、Kfz. 70 Panzerjäger, light infantry artillery, armored infantry artillery and pioneer troops Armored infantry artillery was equipped with Sd.Kfz.251/4 x 3, Other units used Sd.Kfz.10, Sd.Kfz.69 and Sd.Kfz.70.

 第15戦車師団
15th Panzer Division

 第21戦車師団
21st Panzer Division

 第999アフリカ師団
999th Africa Division

 第5軽師団(後の第21戦車師団)
5th Light Division (later renamed
21st Panzer Division)

■第15・第21戦車師団の装甲偵察大隊

第10大隊を除いてオートバイ狙撃兵大隊が事実上なかった北アフリカでは、これまで通り装甲偵察大隊のまま存続しました。そのため、第15戦車師団第33装甲偵察大隊と第21戦車師団第3装甲偵察大隊は、共に第1装甲車中隊、第2偵察中隊(Sd.Kfz.10とKfz.70)、第3重装備中隊のみの編制です。

第3偵察大隊の第1装甲車中隊は1940年の秋に大隊を離れ、他の自動車化歩兵師団の偵察大隊へ移り、第3大隊の第1中隊は欠番となりました。北アフリカへ到着した第3大隊はそのため、第2装甲車中隊、第3オートバイ偵察中隊、第4重装備中隊という編制でした。1942年になって大隊は改編され、元の第2装甲車中隊が第1装甲車中隊、元第3重装備中隊が第2オートバイ偵察中隊となり、第3重装備中隊が新編成され、第4重装備中隊は第4砲兵中隊となりました。この大隊のみが第4中隊を有した珍しい例です。

なお、両部隊は当初自動車化偵察大隊でしたが、1941年3月にPanzerを冠として装甲偵察大隊と呼称が変更されています。ただ、第580大隊は戦車師団所属ではないので、装甲の付かない偵察大隊(自動車化)のままであったようです。

■第999アフリカ師団

この師団の全ての配下部隊がチュニジアへ投入されることがなく、編成が遅れたその第999装甲偵察大隊もそれに含まれます。この大隊は後にギリシャのテッサロニキへ送られ、さらにロドス島に配置され、そこにあったロドス突撃師団に配属されました。

■Armored Reconnaissance Battalions of 15th & 21st Panzer Divisions

In North Africa, armored recon battalions were not reorganized as motorcycle rifle battalions, with the exception of 10th Battalion. Therefore, 33rd Armored Recon Battalion, 15th Panzer Division and 3rd Armored Recon Battalion, 21st Panzer Division maintained the organization of 1st Armored Company, 2nd Recon Company and 3rd Heavy Company.


From autumn of 1940, 1st Company of 3rd Battalion was transferred to the recon battalion of another motorized infantry division. Subsequently, 3rd Battalion consisted of 2nd (armored), 3rd (motorbike recon) and 4th (heavy) companies. 3rd Battalion was reorganized in 1942, with 2nd and 3rd Companies renamed as 1st and 2nd Companies. 3rd Heavy Company was newly added and 4th Heavy Company became 4th Artillery Company. 3rd Battalion was unusual in that it was composed of 4 companies.

Initially, 33rd and 3rd Battalions were called motorized recon battalions, but in March 1941 they were rechristened as armored recon battalions. However, 580th Battalion remained known as a motorized recon battalion, because the unit was not part of a Panzer division.

■999th Africa Division

Some units of Africa Division were not deployed to Tunisia. Due to delays in organization, 999th Armored Recon Battalion was sent to Thessaloniki, Greece then later became part of the Rhodes Sturmdivision.

PAINT REQUIRED

 塗装指示のマークです。タミヤカラーのカラーナンバーで指示しました。

This mark denotes numbers for Tamiya Paint colors.

TS-3 ●ダークイエロー / Dark yellow / Dunkelgelb /
(XF-60) Jaune foncé

X-10 ●ガンメタル / Gun metal / Metall-Grau / Gris acier

X-11 ●クロームシルバー / Chrome silver /
Chrom-Silber / Aluminium chromé

X-18 ●セミグロスブラック / Semi gloss black /
Seidenglanz Schwarz / Noir satiné

XF-1 ●フラットブラック / Flat black / Matt Schwarz /
Noir mat

XF-2 ●フラットホワイト / Flat white / Matt Weiß / Blanc mat

XF-10 ●フラットブラウン / Flat brown / Matt Braun /
Brun mat

XF-15 ●フラットフレッシュ / Flat flesh / Fleischfarben
Matt / Chair mate

XF-16 ●フラットアルミ / Flat aluminum /
Matt Aluminium / Aluminium mat

XF-49 ●カーキ / Khaki / Khaki / Kaki

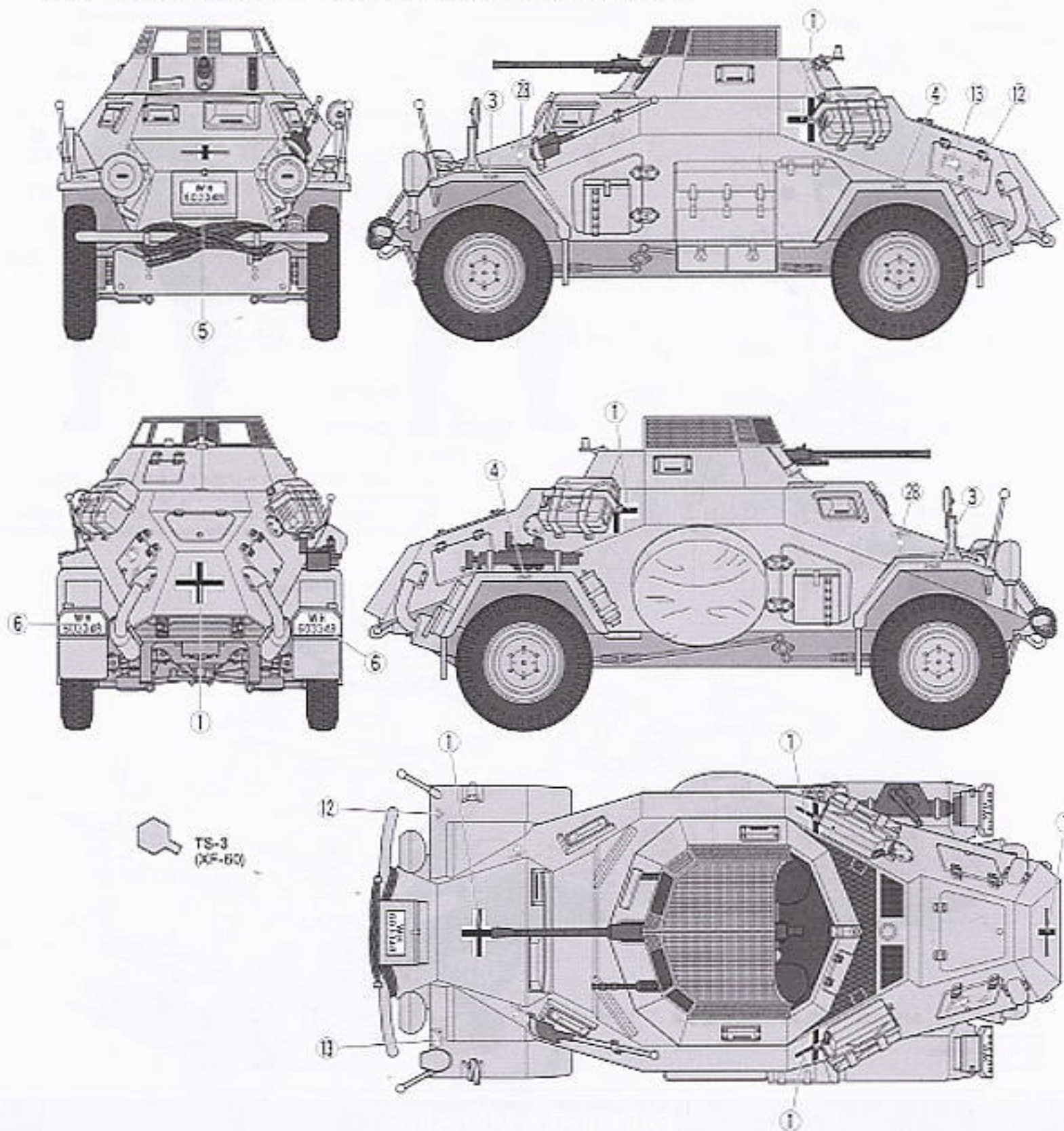
XF-56 ●メタリックグレイ / Metallic grey / Grau-Metallic / Gris métallisé

XF-59 ●デザートイエロー / Desert yellow / Sandgelb /
Jaune désert

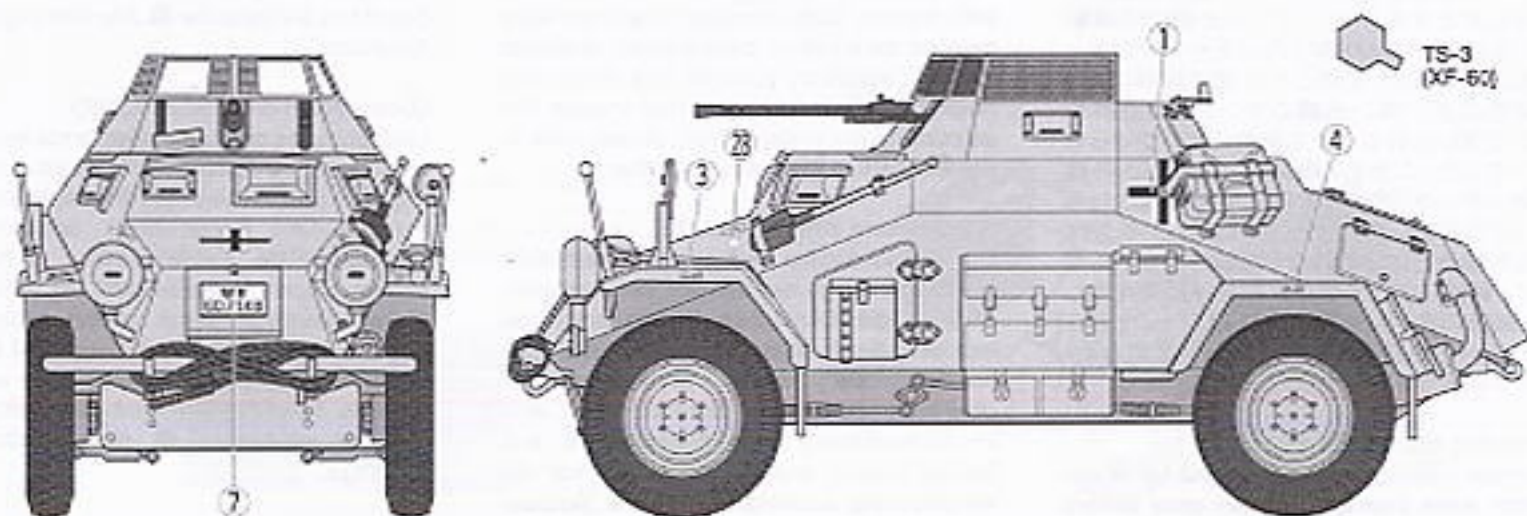
XF-63 ●ジャーマングレイ / German grey /
Deutsches Grau / Gris Panzer

XF-64 ●レッドブラウン / Red brown / Rotbraun / Rouge brun

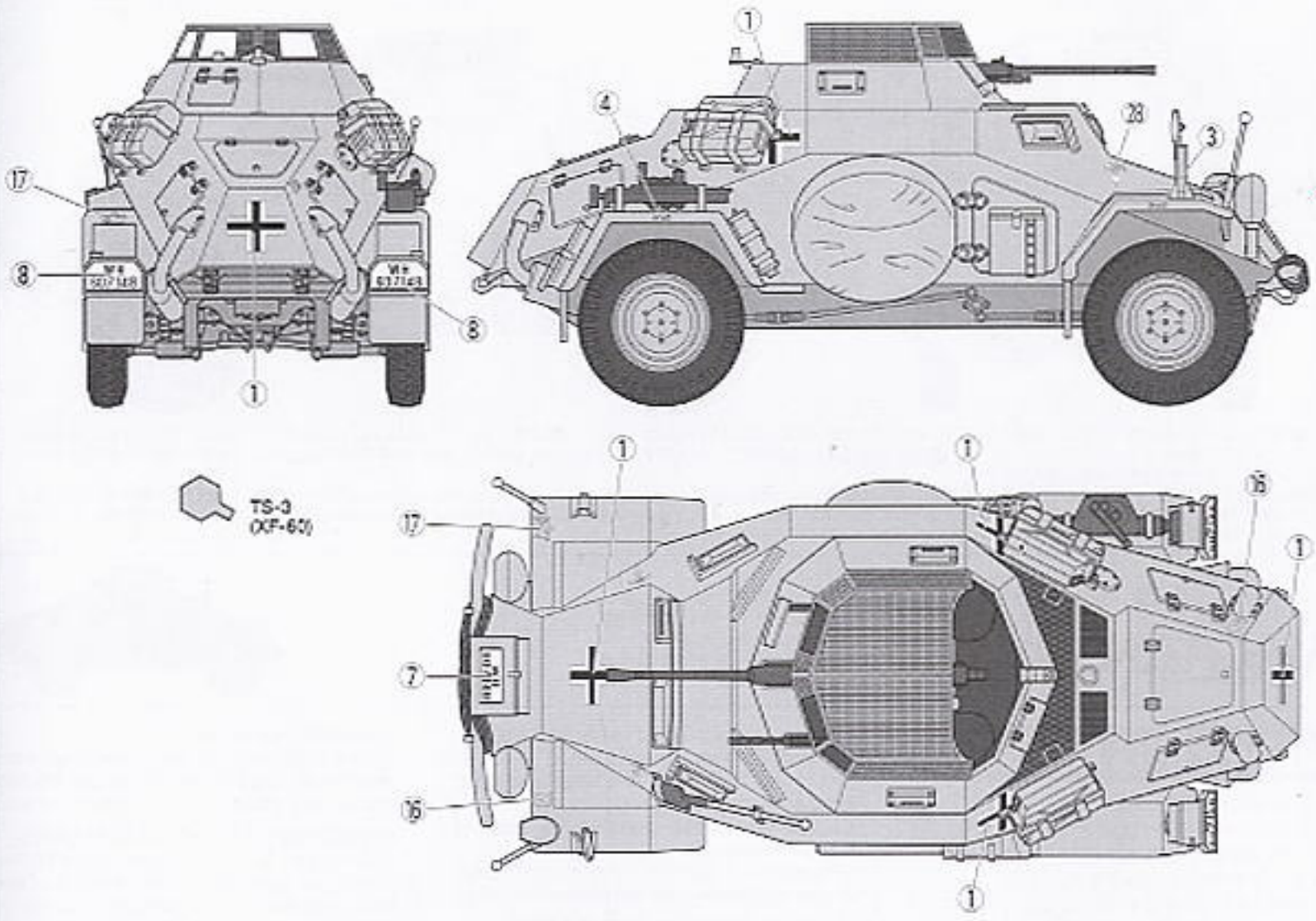
A 《第15戦車師団 第33偵察大隊第1中隊 1941年6月 北アフリカ》
 1st Squadron, 33rd Recon Battalion, 15th Panzer Division – North Africa, June 1941



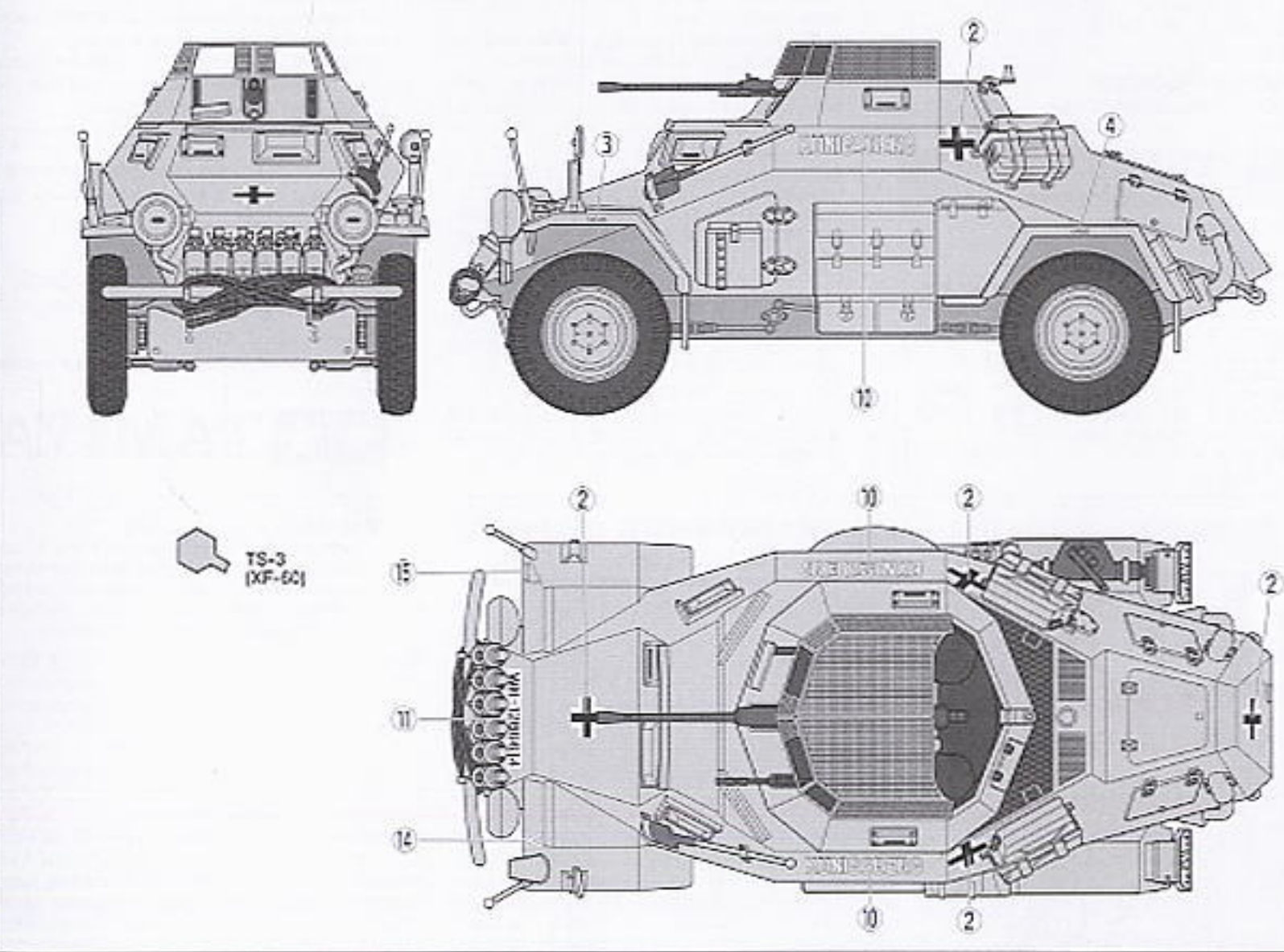
B 《第21戦車師団 第3偵察大隊 第1中隊 1942年 北アフリカ》
 1st Company, 3rd Recon Battalion, 21st Panzer Division – North Africa, 1942




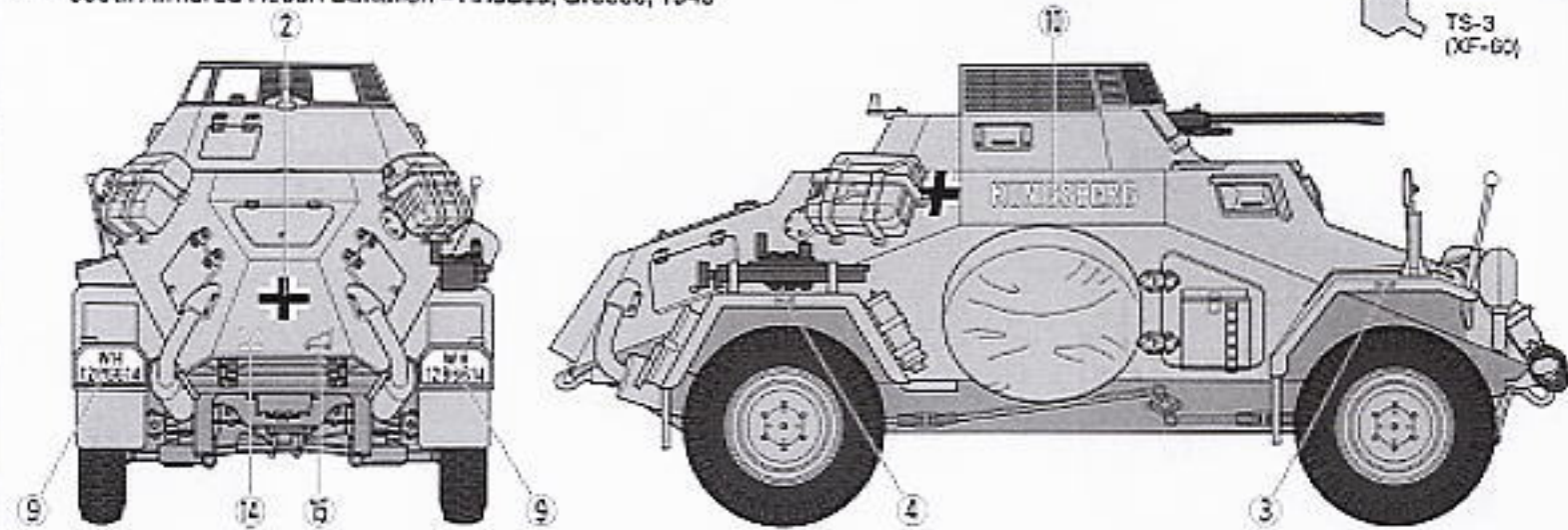
B 《第21戦車師団 第3偵察大隊 第1中隊 1942年 北アフリカ》
 1st Company, 3rd Recon Battalion, 21st Panzer Division - North Africa, 1942



C 《第999装甲偵察大隊 1943年 ギリシャ・ロードス島》
 999th Armored Recon Battalion - Rhodes, Greece, 1943

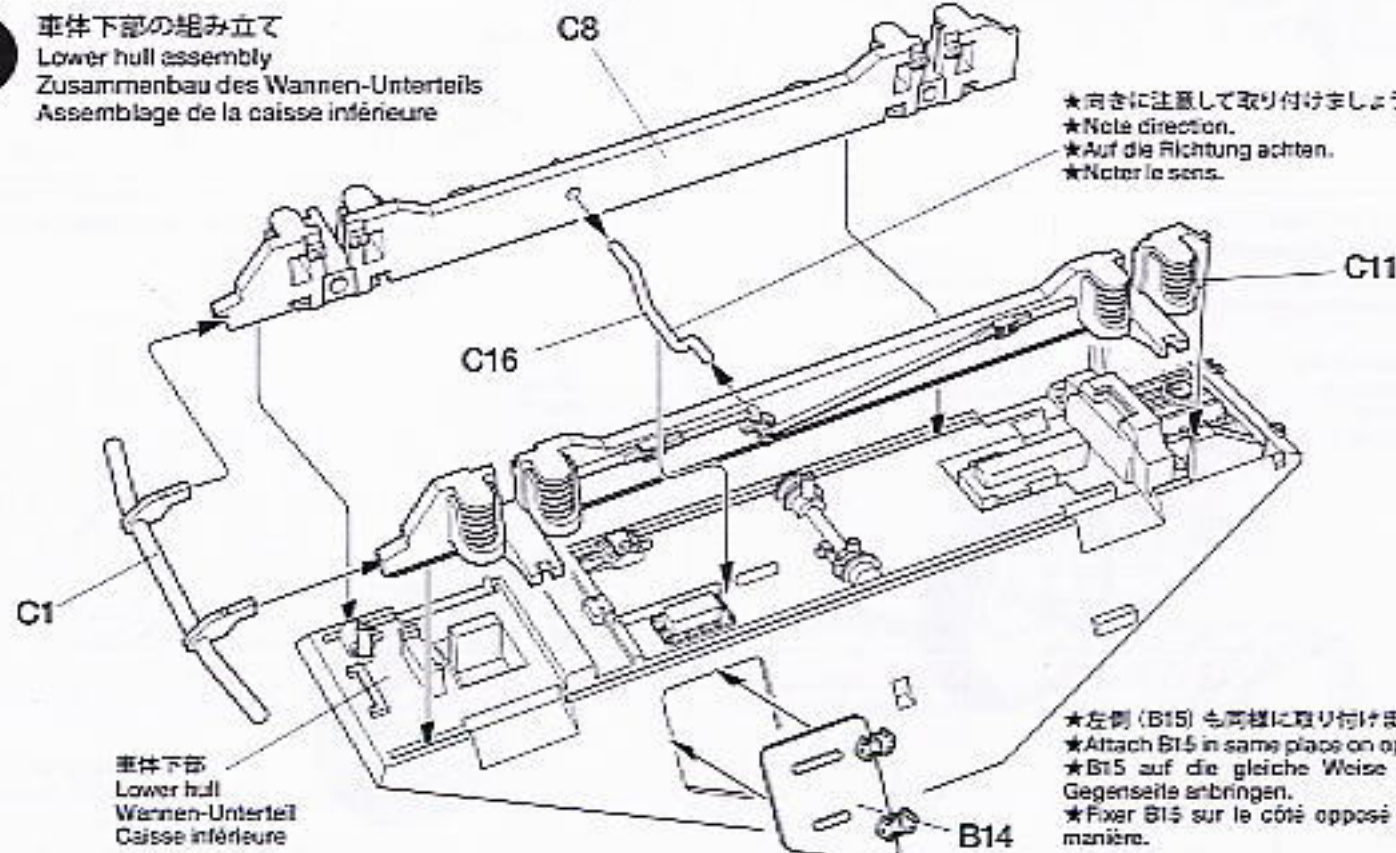



 《第99装甲偵察大隊 1943年 キリシヤ・ロドス島》
 99th Armored Recon Battalion - Rhodes, Greece, 1943



■第99装甲偵察大隊が当初、配属された第999アフリカ師団は、第5軍管区のホイベルク演習場において1942年10月に旅団として編成が開始され、1943年2月には師団に拡大されることになりました。編成が間に合わずに北アフリカへ同行できなかった第999大隊の装甲車輻の側面には、都市や動物の名前がニックネームとして大きく記されていました。
 ■The 999th Africa Division was initially formed as a brigade at Heuberg on October 6, 1942. The brigade was expanded to the division size in February 1943. Due to delays in organization, the 999th Battalion, part of the 999th Division, was not deployed to Africa. Many of the battalion's armored cars featured the names of cities or animals written on the sides as nicknames.

1 車体下部の組み立て
 Lower hull assembly
 Zusammenbau des Wannen-Unterteils
 Assemblage de la caisse inférieure

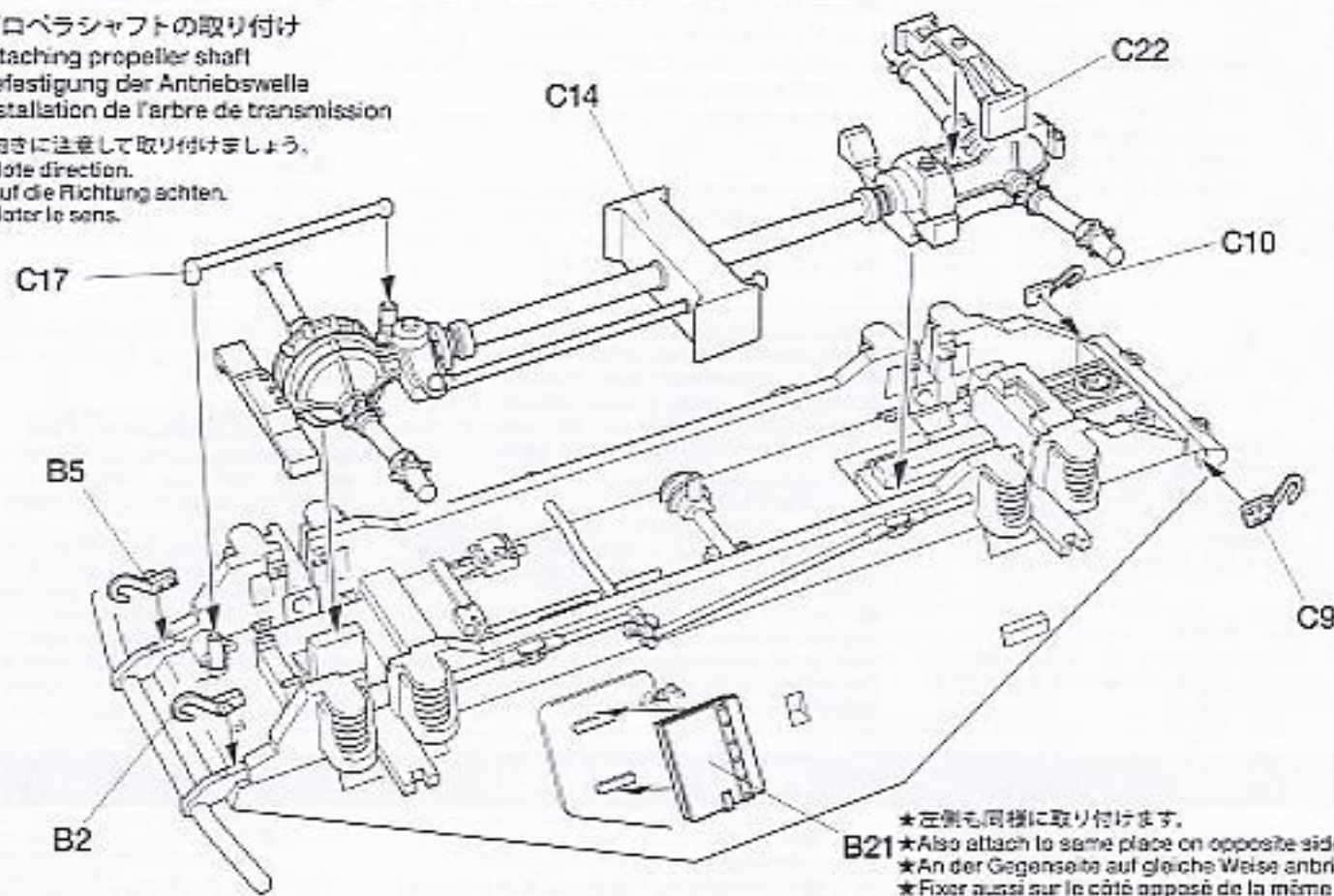


★向きに注意して取り付けましょう。
 ★Note direction.
 ★Auf die Richtung achten.
 ★Noter le sens.

★左側 (B15) も同様に取り付けます。
 ★Attach B15 in same place on opposite side.
 ★B15 auf die gleiche Weise wie an der Gegenseite anbringen.
 ★Fixer B15 sur le côté opposé de la même manière.

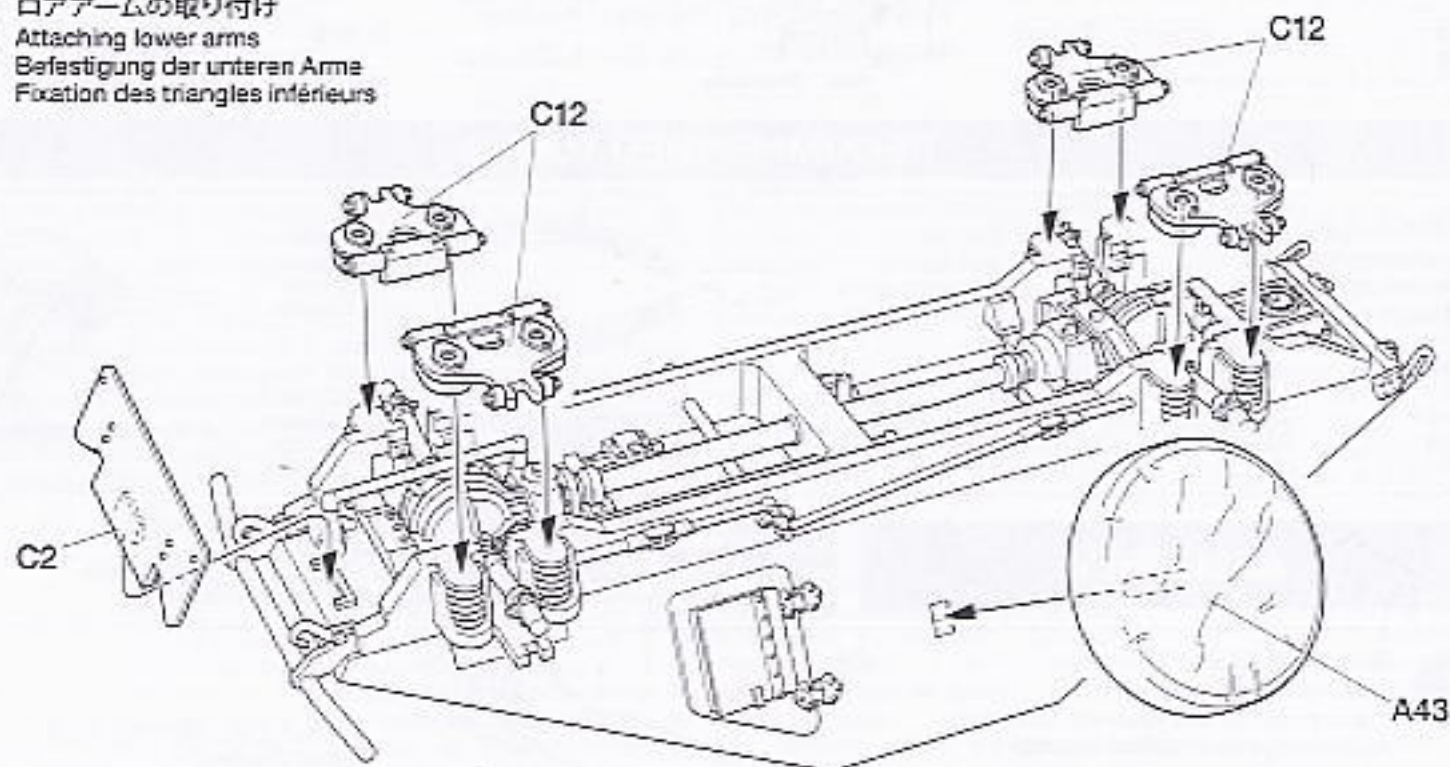
2 プロペラシャフトの取り付け
 Attaching propeller shaft
 Befestigung der Antriebswelle
 Installation de l'arbre de transmission

★向きに注意して取り付けましょう。
 ★Note direction.
 ★Auf die Richtung achten.
 ★Noter le sens.



★左側も同様に取り付けます。
 ★Also attach to same place on opposite side.
 ★An der Gegenseite auf gleiche Weise anbringen.
 ★Fixer aussi sur le côté opposé de la même manière.

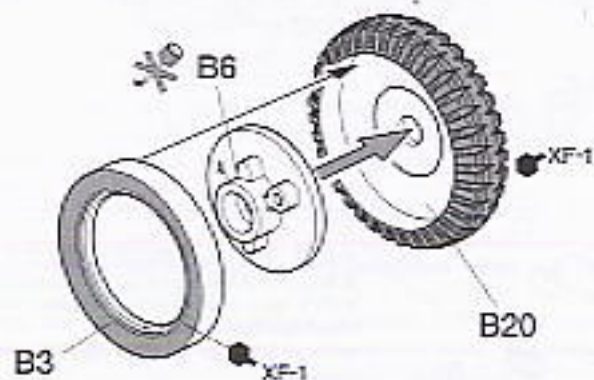
3 ロアアームの取り付け
 Attaching lower arms
 Befestigung der unteren Arme
 Fixation des triangles inférieurs



4 タイヤの組み立て
 Wheel assembly
 Rad-Zusammenbau
 Assemblage des roues

(タイヤ A)
 Wheel A
 Rad A
 Roue A

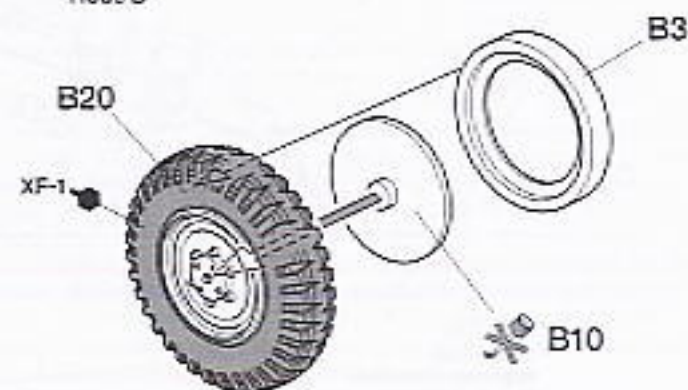
★2個作ります。
 ★Make 2.
 ★2 Satz anfertigen.
 ★Faire 2 jeux.



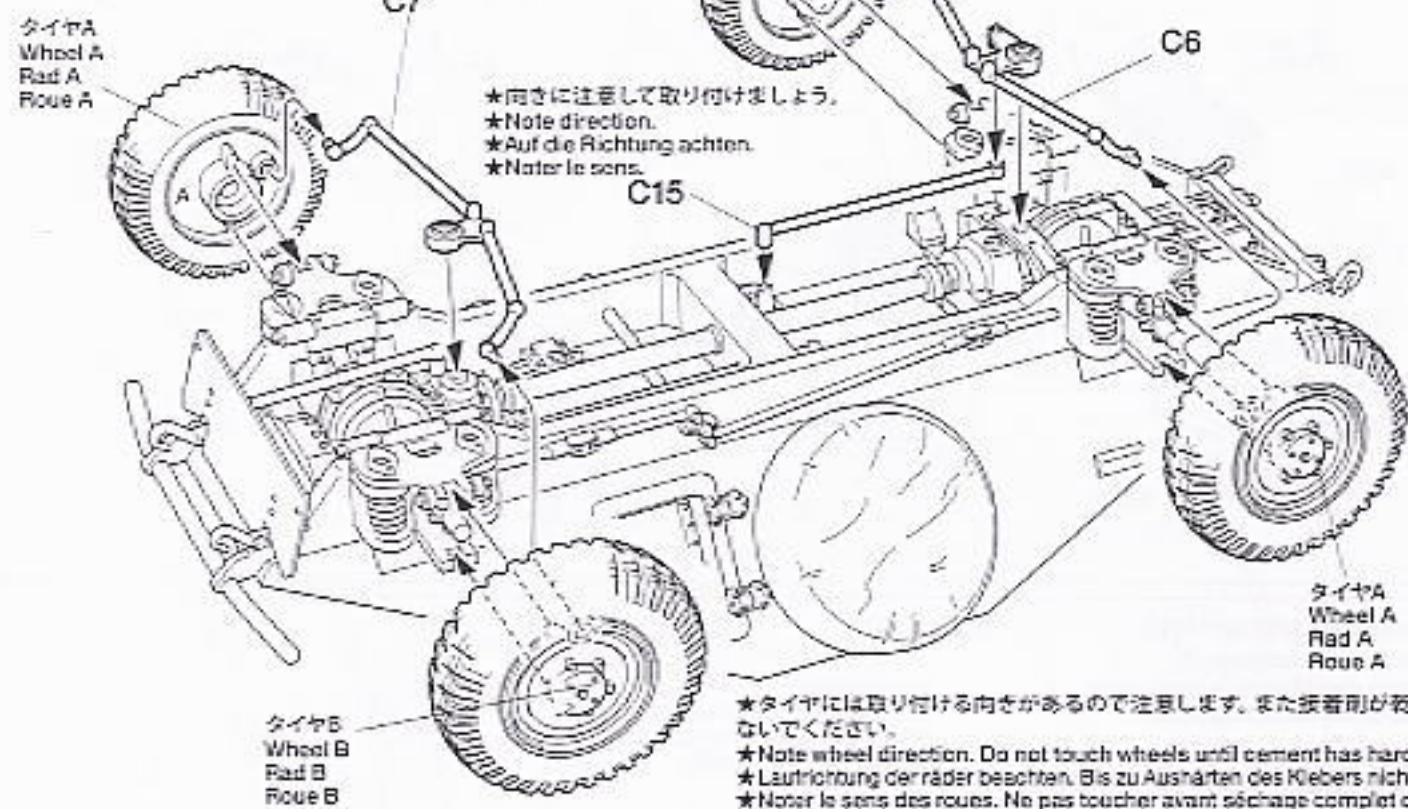
✖ このマークの部品、部分は接着しません。
 Do not cement.
 Nicht kleben.
 Ne pas coller.

(タイヤ B)
 Wheel B
 Rad B
 Roue B

★2個作ります。
 ★Make 2.
 ★2 Satz anfertigen.
 ★Faire 2 jeux.



5 タイヤの取り付け
Attaching wheels
Befestigung der Räder
Fixation des roues

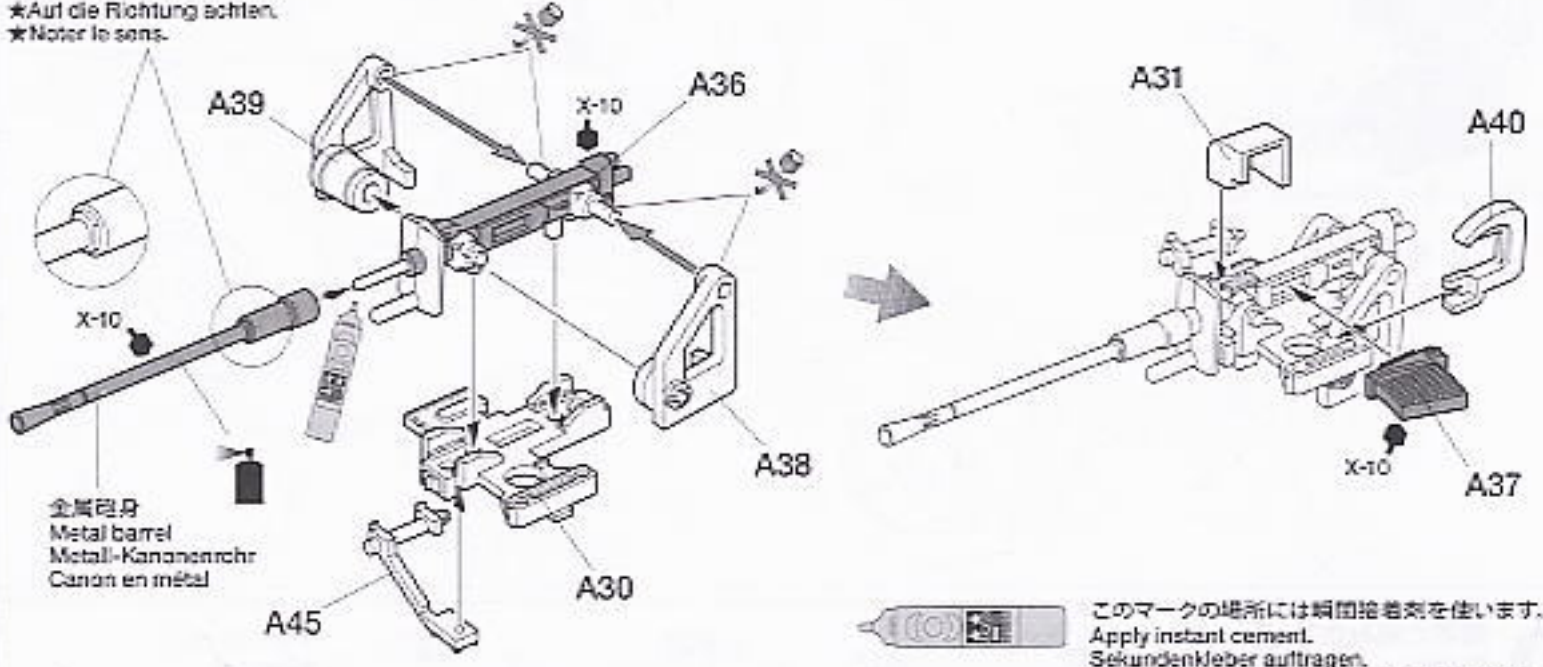


★タイヤには取り付ける向きがあるので注意します。また接着剤が乾くまで動かさないでください。
★Note wheel direction. Do not touch wheels until cement has hardened.
★Auf die Richtung der Räder beachten. Bis zu Aushärten des Klebers nicht berühren.
★Noter le sens des roues. Ne pas toucher avant séchage complet de la colle.

6 2cm砲 KwK38の組み立て1
2cm KwK38 machine gun assembly 1
Zusammenbau des 2cm KwK38 Maschinengewehrs 1
Assemblage de la mitrailleuse 2cm KwK38 1

金属パーツはタミヤメタルプライマー (別売) を吹き付けてから塗装します。
Apply metal primer (sold separately) before painting.
Zum Lackieren vorher (getrennt erhältliche) Metallgrundierung auftragen.
Appliquer de l'apprêt pour métal (disponible séparément) avant peinture.

★砲身の向きに注意し、まっすぐに取り付けます。
★Note direction.
★Auf die Richtung achten.
★Noter le sens.

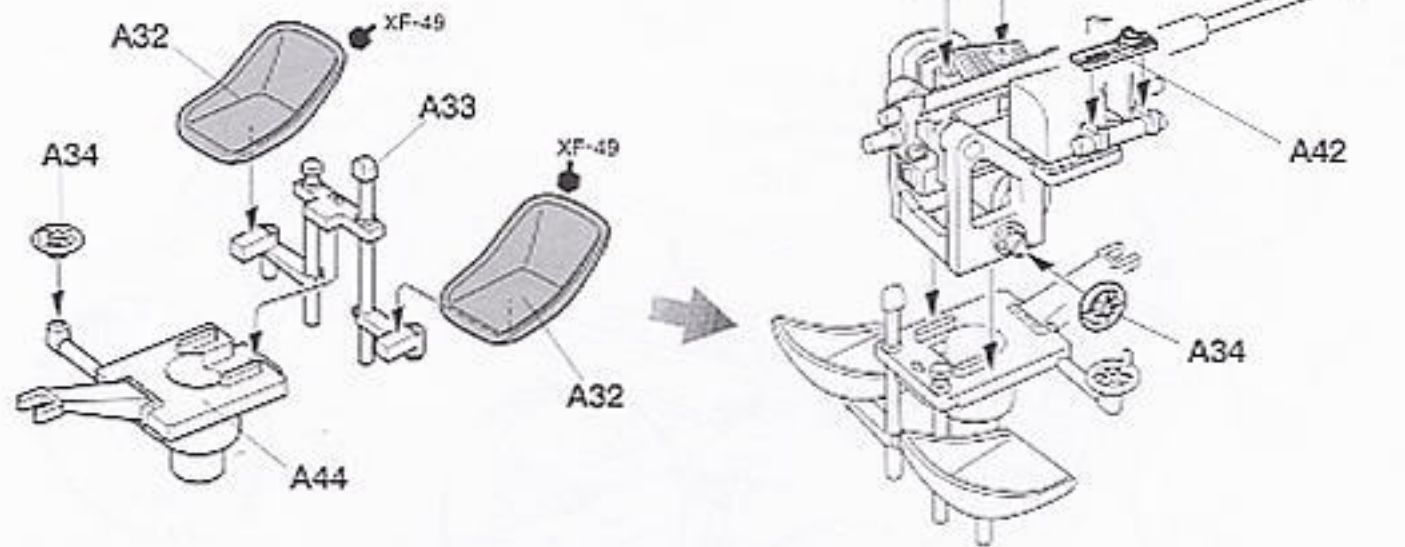


金属砲身
Metal barrel
Metall-Kanonenrohr
Canon en métal

このマークの場所には瞬間接着剤を使います。
Apply instant cement.
Sekundenkleber auftragen.
Appliquer de la colle rapide (cyanoacrylate).

7

2cm砲KwK38の組み立て2
2cm KwK38 machine gun assembly 2
Zusammenbau des 2cm KwK38 Maschinengewehrs 2
Assemblage de la mitrailleuse 2cm KwK38 2



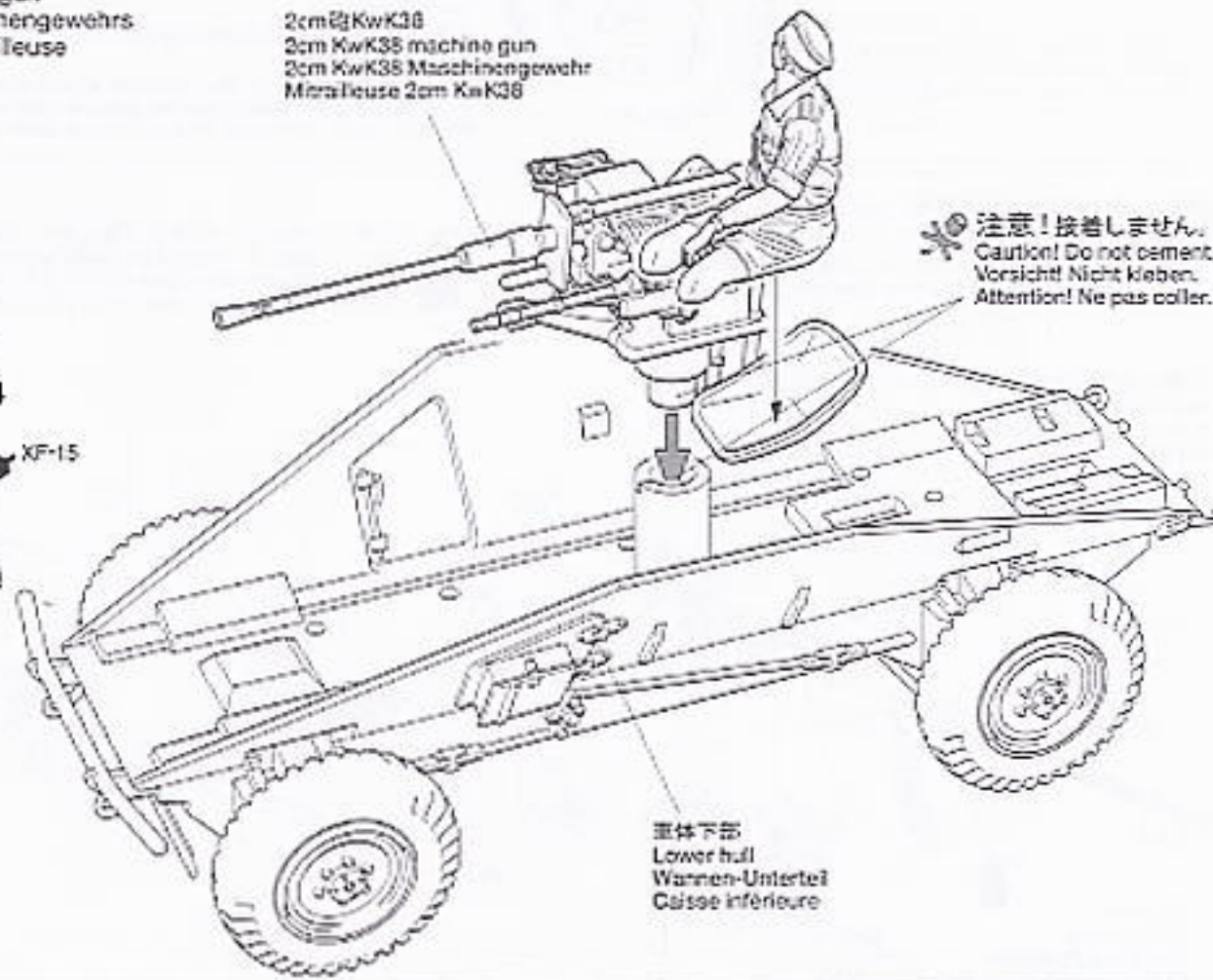
8

2cm砲KwK38の取り付け
Attaching machine gun
Einbau des Maschinengewehrs
Fixation de la mitrailleuse

《無線手薬装填手》
Leader / Radio operator
Schütze / Bediener
Chargeur / Opérateur radio



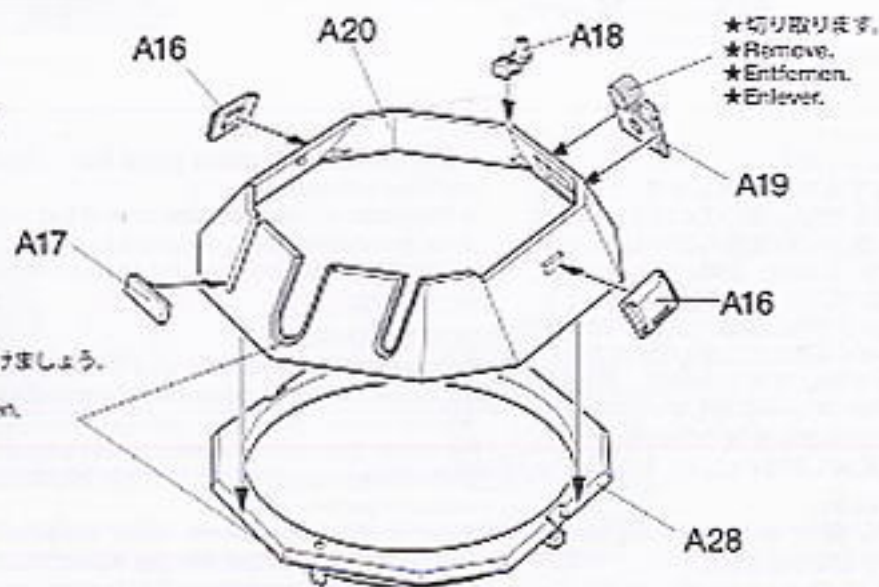
2cm砲KwK38
2cm KwK38 machine gun
2cm KwK38 Maschinengewehr
Mitrailleuse 2cm KwK38



9

砲塔の組み立て
Turret
Turm
Tourelle

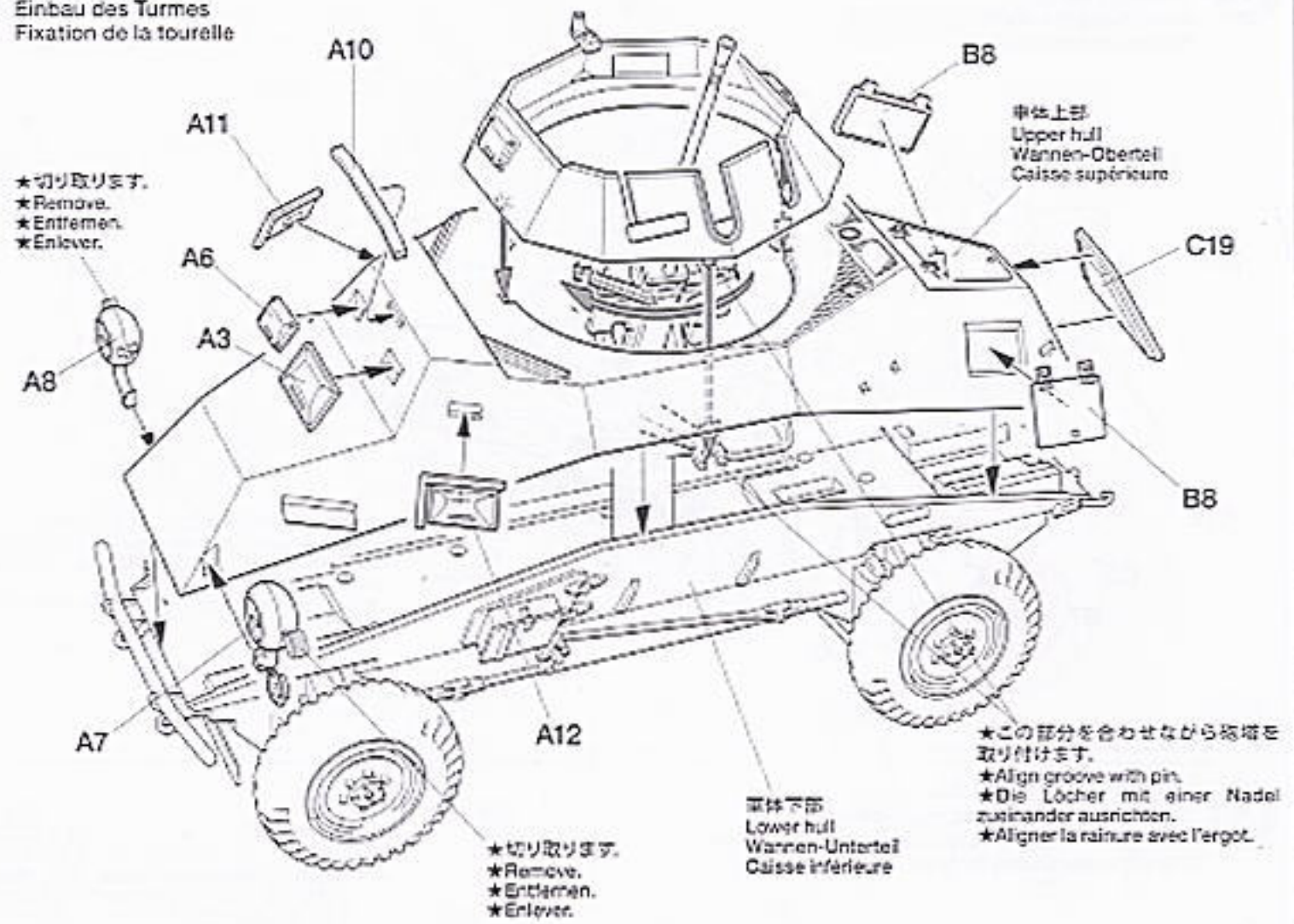
《砲塔》
Turret
Turm
Tourelle



★向きに注意して取り付けましょう。
★Note direction.
★Auf die Richtung achten.
★Noter le sens.

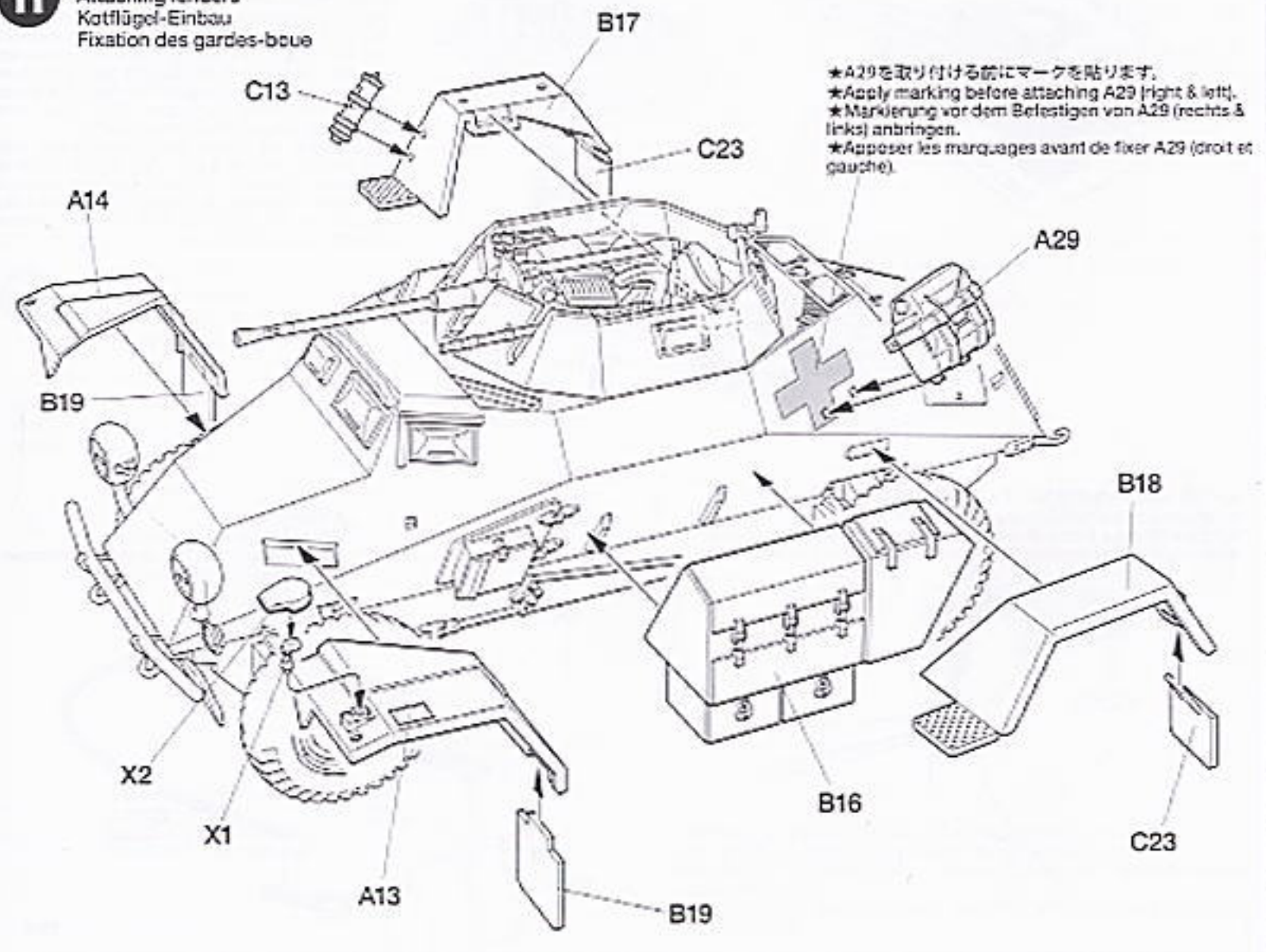
10

砲塔の取り付け
Attaching turret
Einbau des Turmes
Fixation de la tourelle



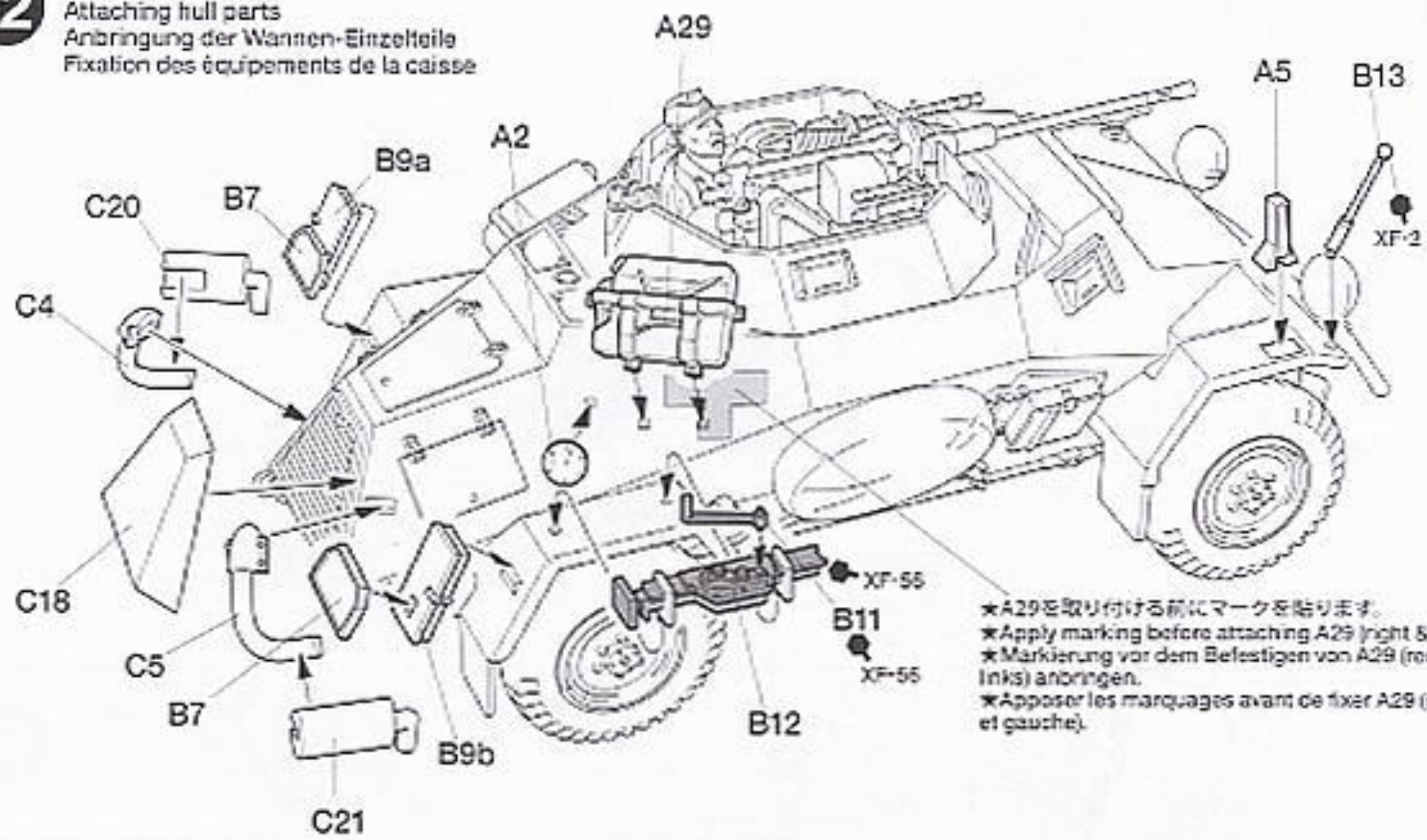
11

フェンダーの取り付け
Attaching fenders
Kotflügel-Einbau
Fixation des gardes-boue



12

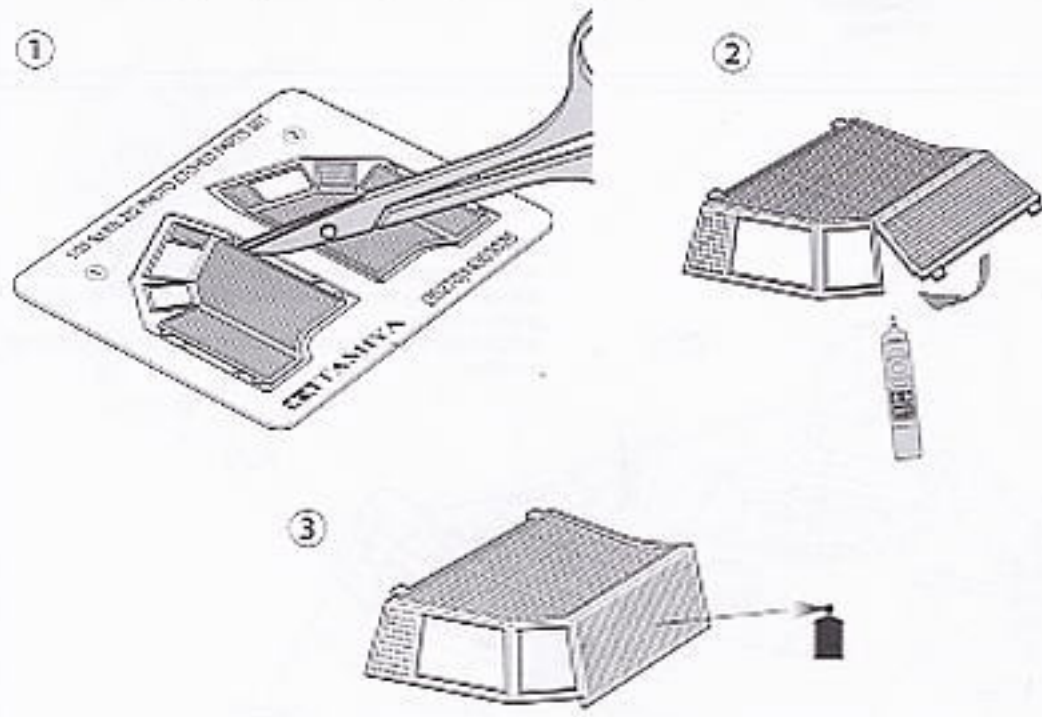
車体部品の取り付け
 Attaching hull parts
 Anbringung der Wannen-Einzelteile
 Fixation des équipements de la caisse



★A29を取り付ける前にマークを貼ります。
 ★Apply marking before attaching A29 (right & left).
 ★Markierung vor dem Befestigen von A29 (rechts & links) anbringen.
 ★Apposer les marquages avant de fixer A29 (droit et gauche).

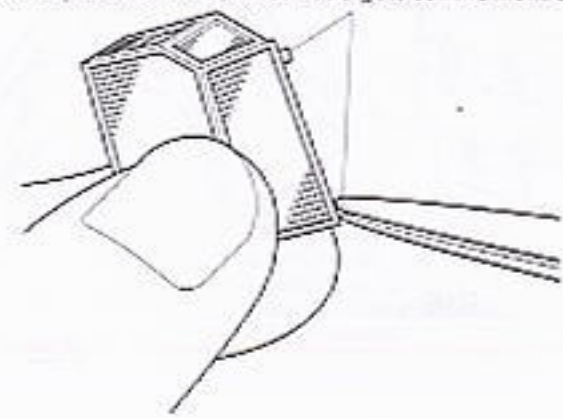
13

メッシュカバーの切り出し
 Cutting off photo etched mesh-covers
 Abschneiden der fotoätzten Gitterabdeckungen
 Découpe des portes en grille photo-découpée

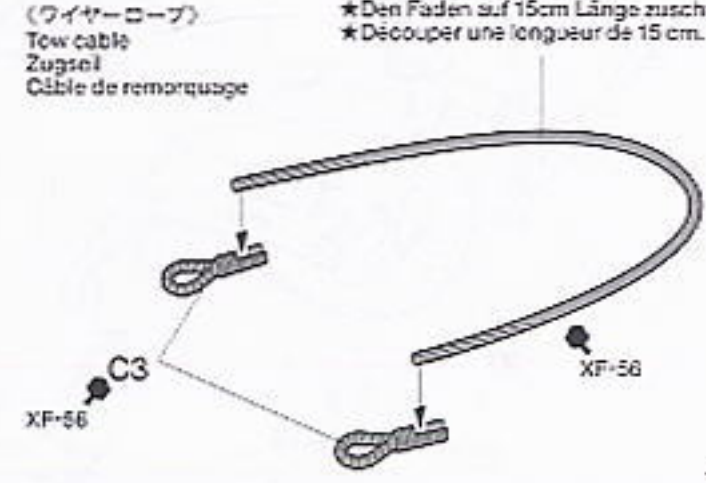


★メッシュカバーはエッチングはさみで切り出し、図のようにエッチングペンダーで折り曲げ、カバーの内側から瞬間接着剤で接着します。塗装はクマヤメタルプライマーを吹き付けてからおこなってください。また曲げなおすと折れてしまうので十分注意しましょう。
 ★Cut out photo etched parts using modeling scissors for photo-etched parts. Bend using bending pliers and apply instant cement from inside. Apply metal primer before painting. Do not bend repeatedly as it may damage the parts.
 ★Die fotoätzten Teile mit der Modellbauschere aus der Platte fotoätzter Teile ausschneiden. Mit der Zange in Form biegen und von Innen Sekundenkleber auftragen. Vor dem Lackieren Metalgrundierung auftragen. Die Teile nicht wiederholt biegen, sie könnten brechen.
 ★Découper les pièces photo-découpées avec des ciseaux prévus à cet effet. Plier à l'aide de pinces et appliquer de la colle cyanoacrylate par l'intérieur. Appliquer de l'apprêt pour métal avant de peindre. Ne pas plier plusieurs fois : risque d'endommager les pièces.

★メッシュカバーを閉状態にする時は図の位置を折り取ります。
 ★For closed mesh-cover, break off tabs as shown.
 ★Für geschlossene Gittersbedeckung die Laschen wie abgebildet abbrechen.
 ★Pour des portes fermées, casser les ergots comme montré.



★15cmに切った糸。
 ★Cut string into 15cm long.
 ★Den Faden auf 15cm Länge zuschneiden.
 ★Découper une longueur de 15 cm.

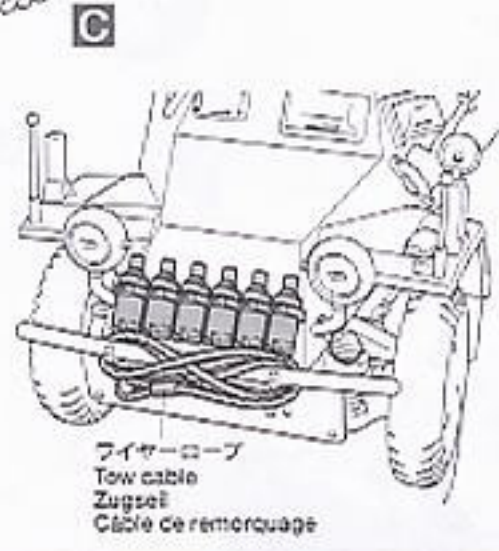
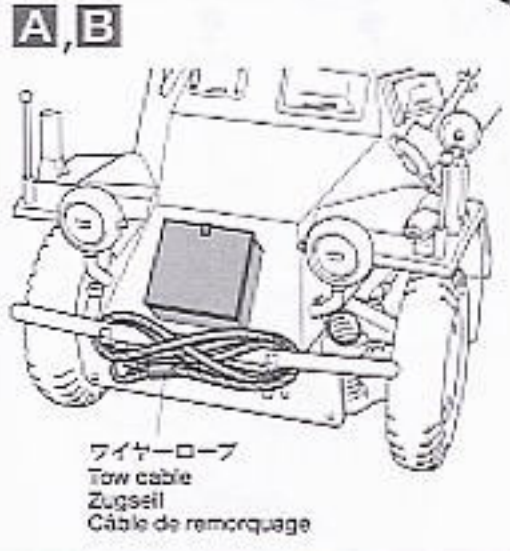
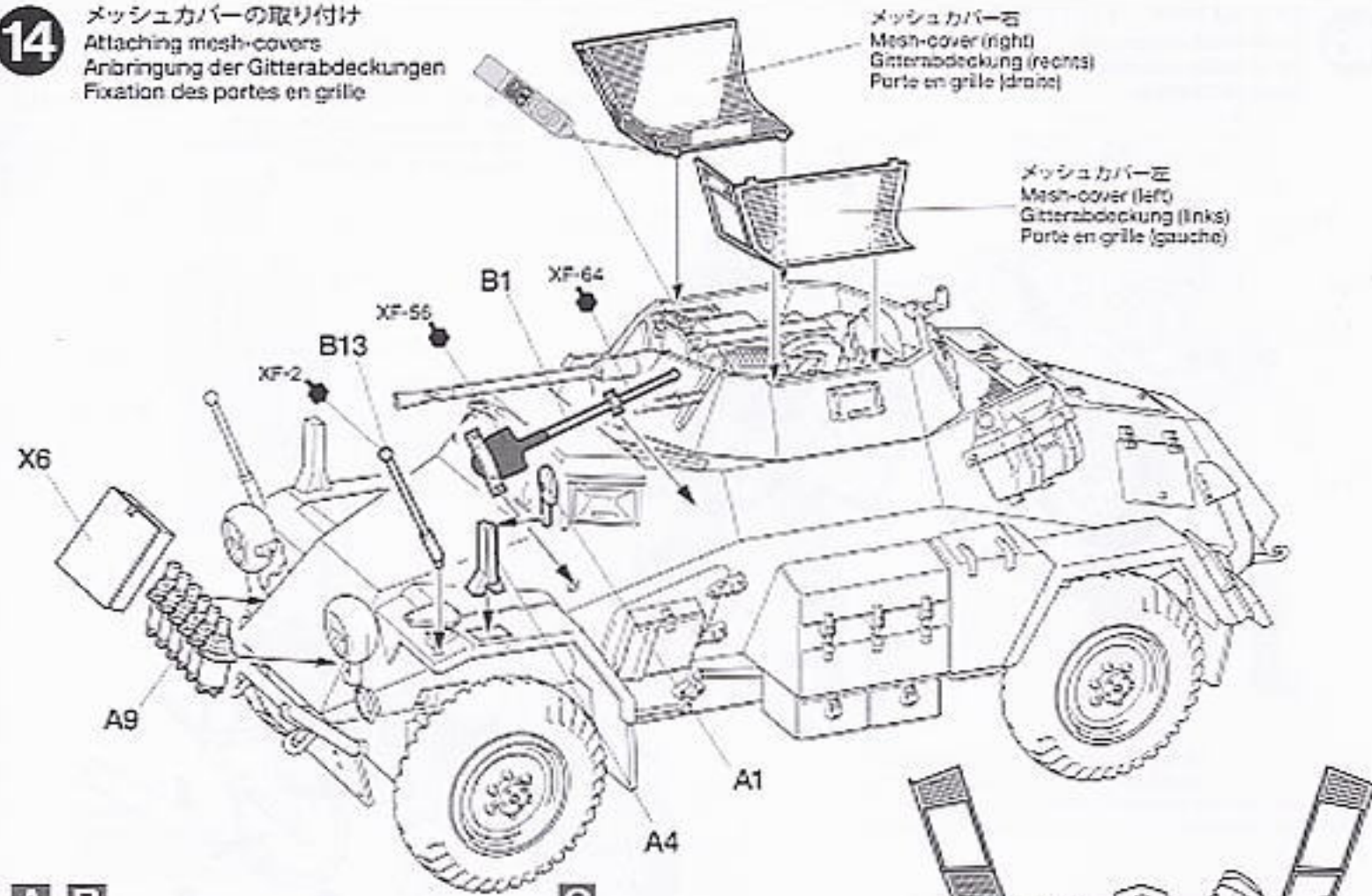


(ワイヤーロープ)
 Tow cable
 Zugseil
 Câble de remorquage

15cm

14

メッシュカバーの取り付け
 Attaching mesh-covers
 Anbringung der Gitterabdeckungen
 Fixation des portes en grille

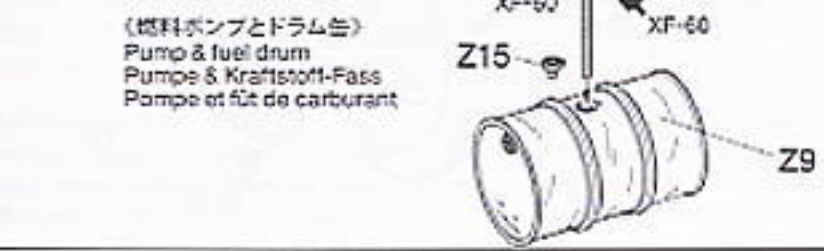
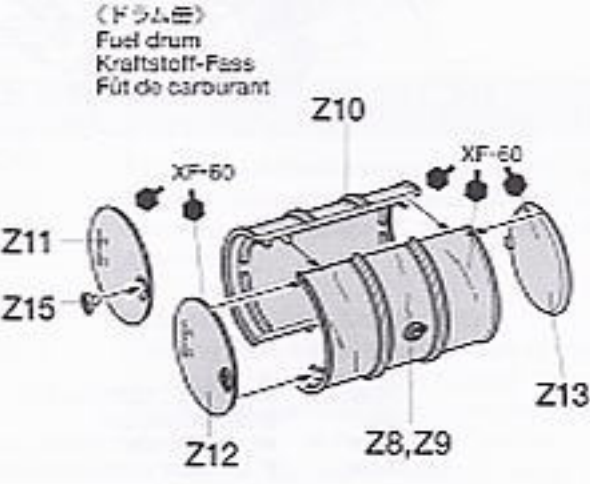
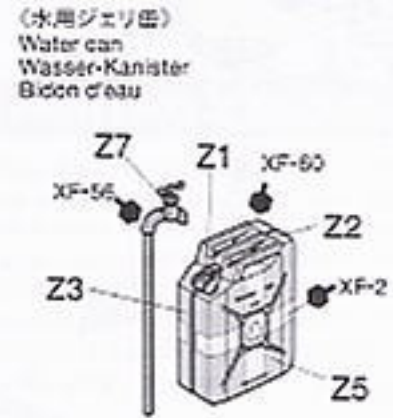
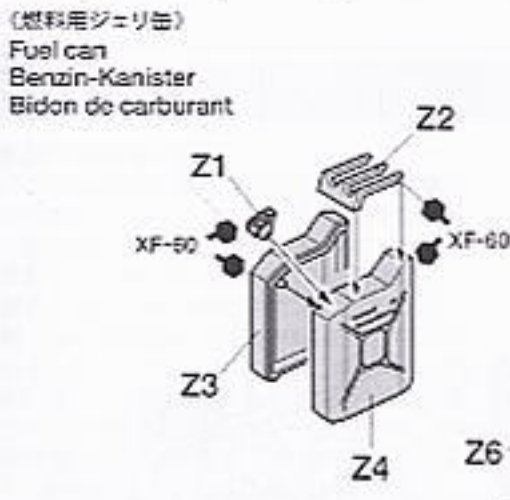


★マーキングによって取り付ける部品が違うので14~16ページをご確認ください。
 ★Assembly of types A and B differs in part from type C. Refer to pages 14-16.
 ★Der Zusammenbau von Typ A und B unterscheidet sich von Typ C. Seiten 14-16 beachten.
 ★L'assemblage des types A et B diffère du type C. Se reporter aux pages 14-16.

15

ジェリカンの組み立て
 Jerry can assembly
 Zusammenbau der Kanister
 Assemblage des rangements

★2部品のジェリカン、ドラム缶は情景などを作るとき、自由に配置してお使いください。
 ★Use 2 parts (jerry cans, fuel drums) as you wish.
 ★Die 2 Teile (Kanister, Kraftstoff-Fässer) nach Belieben verwenden.
 ★Utiliser les pièces Z (caissons, bidons) à votre gré.

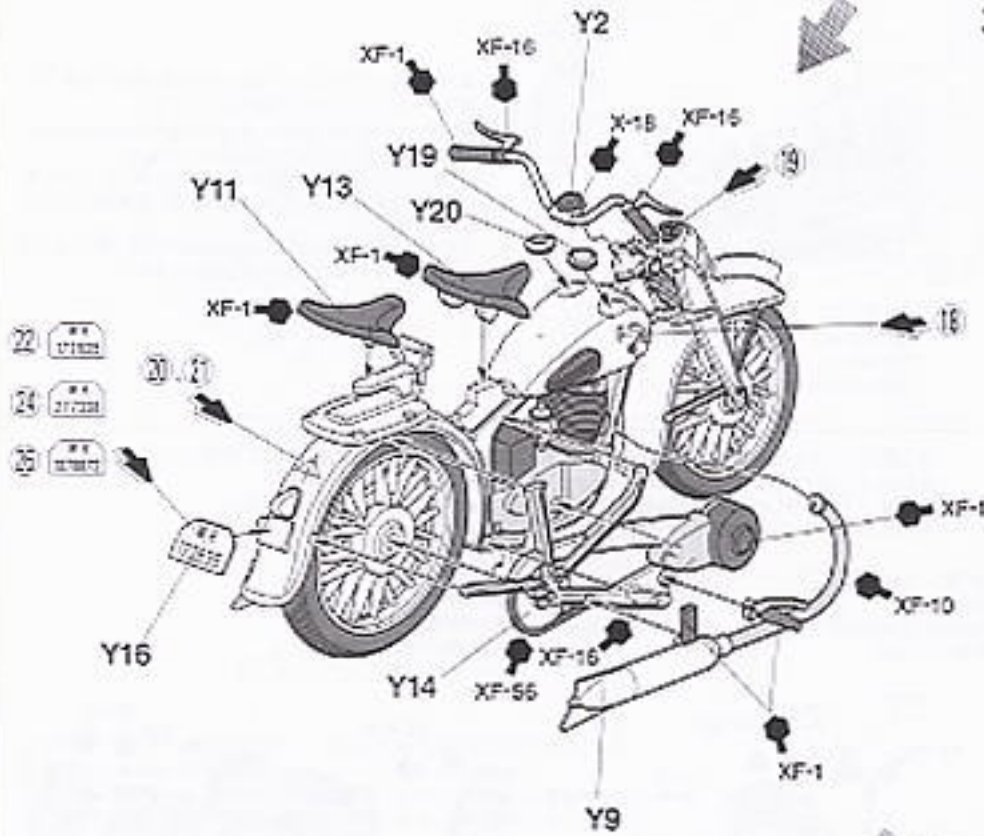
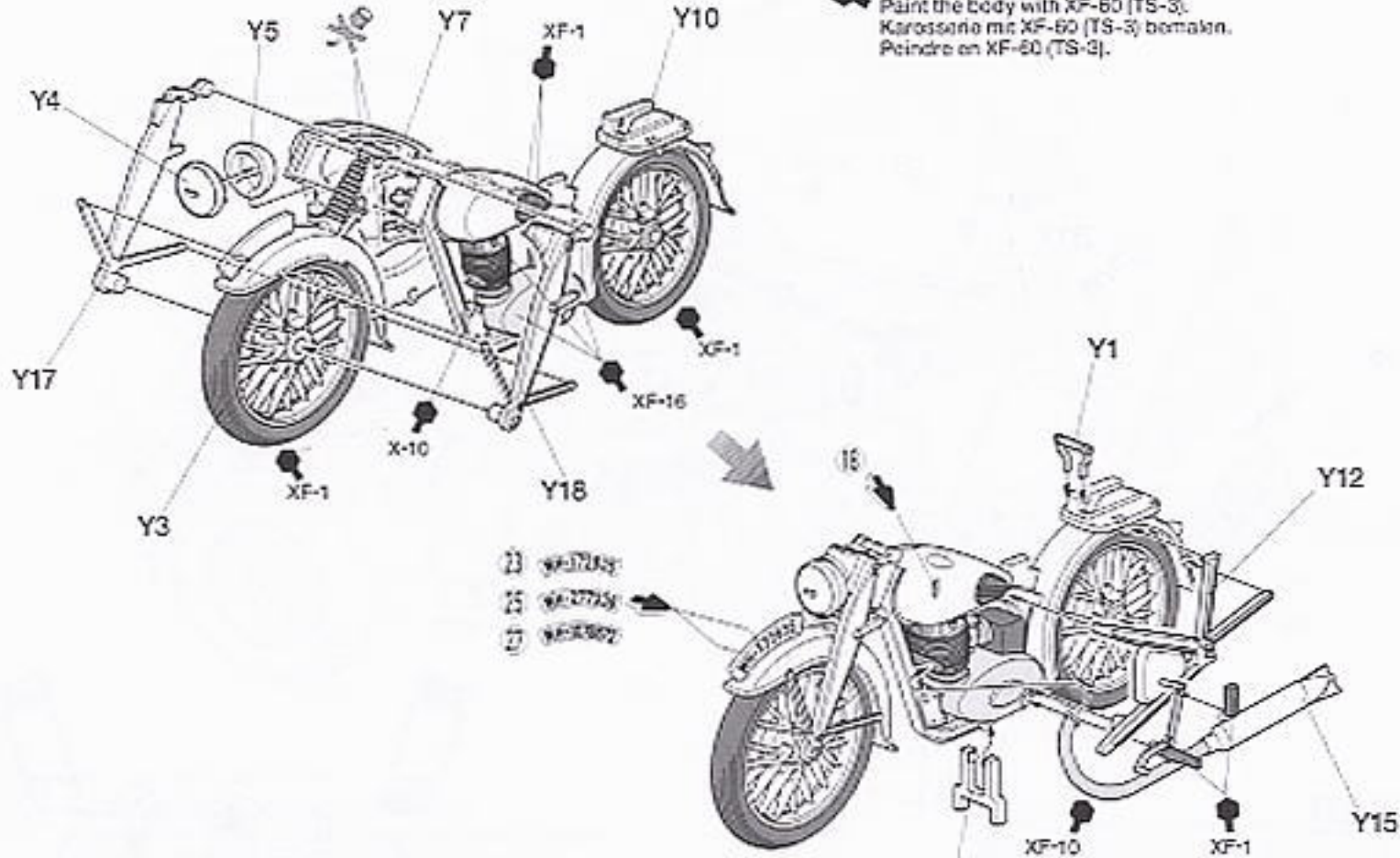


★燃料ポンプ (Z6) はドラム缶上の口に取り付けることもできます。
 ★Pump (Z6) can also be attached to top tap of fuel drum.
 ★Die Pumpe (Z6) kann auch am oberen Zapfen des Kraftstoff-Fasses angebracht werden.
 ★La pompe (Z6) peut également être fixée par dessus le bouchon du fût de carburant.

16

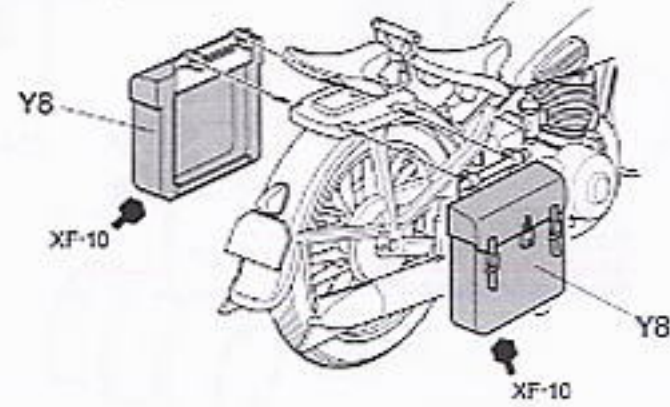
DKW NZ350オートバイの組み立て
 DKW N350 motorcycle
 DKW N350 motorrad
 Moto DKW N350

● 車体色は、XF-60(TS-3)ダークイエローで塗装してください。
 Paint the body with XF-60 (TS-3).
 Karosserie mit XF-60 (TS-3) bemalen.
 Peindre en XF-60 (TS-3).



(地図)
 Map
 Karte
 Carte

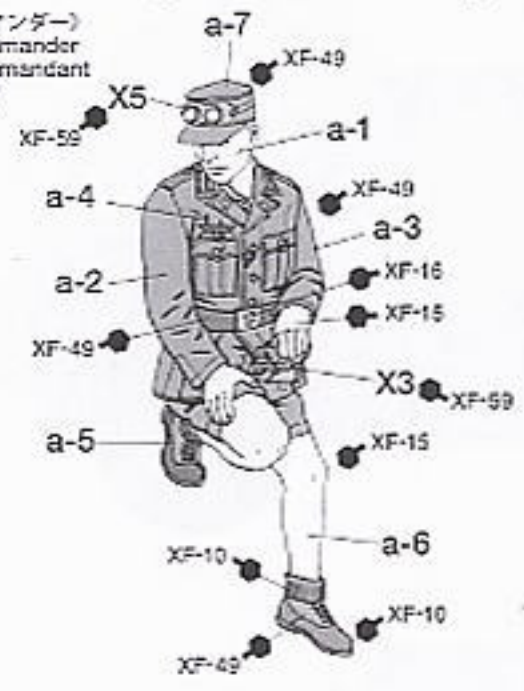
★切り取って自由にお使いください。
 ★Cut out and use.
 ★Ausschneiden und so verwenden.
 ★Découper la carte et utilisée.



17

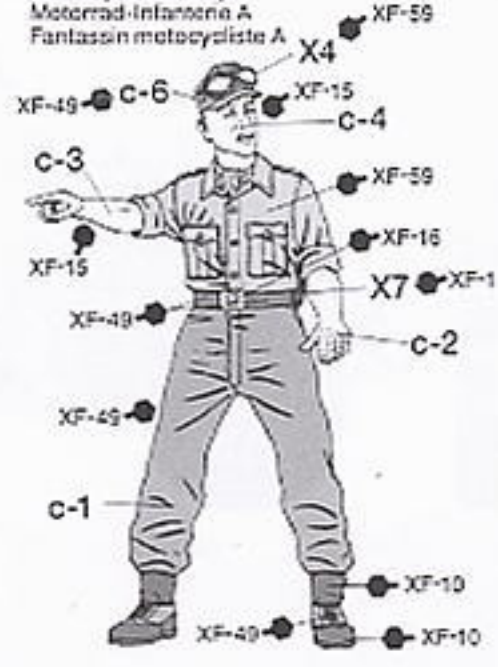
人形の組み立てと配置
 Assembling / positioning figure
 Zusammenbau/ Einsetzen der Figur
 Assemblage / Positionnement de la figurine

(コマンダー)
 Commander
 Kommandant
 Chef



★オートバイはA,Bどちらか選んで組み立てます。
 ★Select either A or B.
 ★A oder B auswählen.
 ★Choisir soit A ou B.

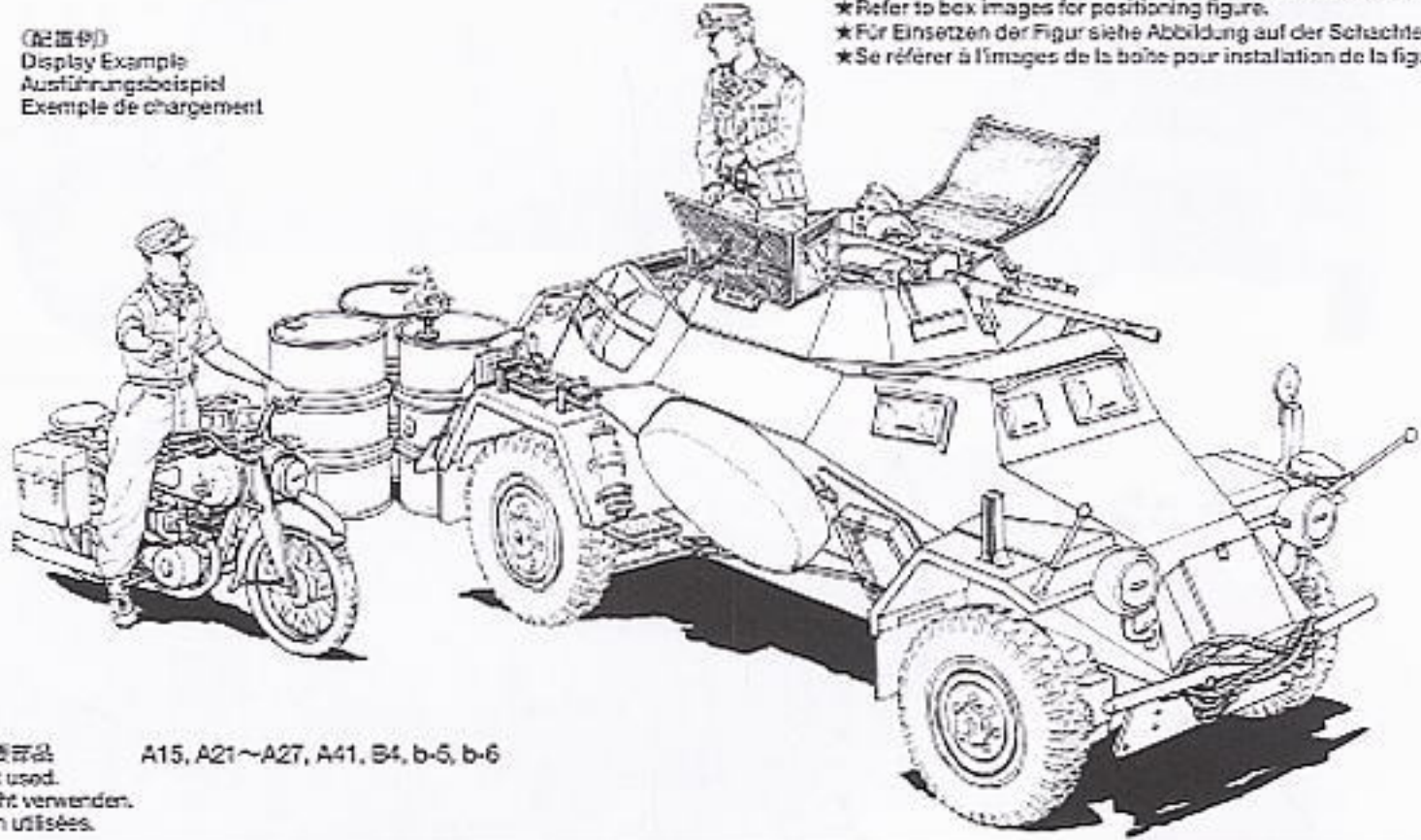
(オートバイ員A)
 Motorcycle infantry A
 Motorrad-Infanterie A
 Fantassin motocycliste A



(オートバイ員B)
 Motorcycle infantry B
 Motorrad-Infanterie B
 Fantassin motocycliste B



(配置例)
 Display Example
 Ausführungsbeispiel
 Exemple de chargement



★人形の取り付けはパッケージサイドを参考にしてください。
 ★Refer to box images for positioning figure.
 ★Für Einsetzen der Figur siehe Abbildung auf der Schachtel.
 ★Se référer à l'images de la boîte pour installation de la figurine.

不要部品
 Not used.
 Nicht verwenden.
 Non utilisées.

A15, A21~A27, A41, B4, b-5, b-6

Military Model Reservation Items



[WWII German Medium Tank...](#)
 Amusing H...
 1/35
 4,080 yen



[B-2 Spirit \(Plastic model\)](#)
 Mikro Mir
 1/144
 6,290 yen



[Short Sunderland Mk. V \(Plastic model\)](#)
 Special H...
 1/72
 6,800 yen



[Doblhoff WNF 342 \(Plastic model\)](#)
 Mikro Mir
 1/48
 3,825 yen



[IJN Special Type \(Ayanamori\)](#)
 Pit-Road
 1/700
 Sky Wave
 2,550 yen



[Soviet Medium Tank T-28 \(Plastic model\)](#)
 Zvezda
 1/35
 4,080 yen



[The Kotobuki Squadron in t...](#)
 Platz , P...
 1/144
 1,870 yen



[German Tiger I Early Production](#)
 Rye Field...
 1/35
 9,690 yen



[MiG-21UM Mongolian B` Pt...](#)
 KP Model...
 1/72
 2,805 yen



[IJN Type96 Carrier Fighter](#)
 Platz
 1/144
 1,700 yen

Close